



# Web Fairy Paradise

第162号

## 今月のフェアリー詰将棋

- ・ 第137回 WFP 作品展(再掲)
- ・ 第2回おばかな作品展(解答期間延長)
- ・ ちょっと早い2022年年賀詰作品展
- ・ やさしい Imitator PART4 出題編
- ・ 第15回神無太郎の氾濫 問題編

## 結果発表

- ・ 第136回 WFP 作品展
- ・ カピタン展示室 No.34
- ・ 推理将棋第144回出題

## 読み物

- ・ 長谷繁蔵さんを偲んで
- ・ 第1回最後の1ピース作品展要項(再掲)
- ・ フェアリー入門作品募集
- ・ 協力詰超入門



2021/12

## はじめに



### 今年の漢字

今年の漢字一文字が先日発表され、「金」でした。これで4回目の登場で、これまで全てオリンピックイヤーということで、「金」は殿堂入りでもよさそうですね。

金に因んで入門用作品を1つ。

二金詰 5手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
									四
									五
							香	香	六
									七
								駒	八
									九

持駒 香

※17と27の金は金将王（ロイヤル駒）

「両王手をかけてください。」解答は次号で

今年1年は昨年に続きコロナウイルスに振り回された1年でした。ほとんどのイベントも中止になりました。オミクロン株がどうなるか微妙な所ではありますが、来年こそは平穏な1年になることを願ってやみません。今年1年 WFP をご愛顧頂きありがとうございました。

たくぼん

### 作品

フェアリー作品、PG、推理将棋はそれぞれの投稿先へ投稿下さい。

### 読み物

フェアリー詰将棋に関するものに限らず日常のことも研究物でも4コマ漫画からパロディ、イラスト、マイベスト10、自己紹介、何でもOKです。

### 感想

第162号の感想、今後の要望、ご意見等なんでも結構です。是非メールにて私まで

皆様の反応が私の意欲に成りますので是非ご協力をお願いします。

読み物、感想の投稿はこちらまで

たくぼん : [takuji@dokidoki.ne.jp](mailto:takuji@dokidoki.ne.jp)

### 協力いただいている方々の HP アドレス

\*ご協力感謝します

#### 妖精都市

<http://cavesfairy.gl.xrea.com/pub/>

#### 詰将棋メモ

<http://toybox.tea-nifty.com/>

#### 詰将棋おもちゃ箱

<http://www.ne.jp/asahi/tetsu/toybox/>

#### Onsite Fairy Mate

<http://k7ro.sakura.ne.jp/>

#### K.Komine's Home Page

<http://19900504.web.fc2.com/index.html>

#### フェアリー時々詰将棋

<http://fairypara.blog.fc2.com/>

#### 占魚亭残日録

<https://sengyotei.hatenablog.com>

## 第137回WFP作品展(再掲)

担当：神無七郎

今月のWFP作品展の新規出題はお休みです。本稿では第137回WFP作品展の出題稿を再度掲載します。

### 〔第137回作品展各題への補足説明〕

第137回の出題は全12題(ツインや複数解を含むため実質16題)。今回登場する作者は小林看空氏、占魚亭氏、一乗谷酔象氏、藤原俊雅氏、神無太郎氏、せら氏、上田吉一氏、変寝夢氏、青木裕一氏、くろねこ氏、馬屋原剛氏の11名です。せら氏は今回が初登場となります。

今月も多種多様な作品が登場し、頭の切り替えが大変だと思いますが、期末の特別進行で、今回は通常より解答募集期間が一ヶ月長くなります。この時間を利用して1問でも多く解けるよう頑張ってください。

**137-1**は小林看空氏のライフル作品。双玉&飛角図式で大技が予想できますね。**WFP135-5**は「居成」「居不成」が主題でしたが、本局の主題は何でしょうか？

**137-2**は占魚亭氏のImitator作品。天竺ルールにKnight(騎)まで加わり、フェアリー要素てんこ盛りですが、手数が4手なので根性を入れれば何とかなるでしょう。

**137-3**は一乗谷酔象氏の推理将棋。**136-4**と同様、実戦初形から最短手数で盤上煙にせよという最短手数探索問題です。なお今回は都煙なので、詰上りの盤上駒数は4枚です。**WFP100**号の「詰めば都」(結果稿**WFP101**号)では、この条件を満たす最短手数は45手とされていましたが、その記録を上回る解が発見されたわけですね。推理将棋の形式で出題されていますが、本質的には最短手数探索問題なので、条件1)と2)を満たせば正解とし、条件をすべて満たせば完全な正解として1点加点します。

**137-4**は藤原俊雅氏の受先作品。**136-7**と同様攻方手番なら1手詰ですが、手番は受方です。解が2つあるので、両方の解を求めてください。一つ解が見つければ、もう一つの解も自然に見つかると思います。

**137-5**は藤原俊雅氏の「最後の1ピース」作品。生駒を1枚追加して3手詰の詰将棋(完全作)を作ってください。手順は完全限定です。本局は馬屋原氏の作品との共演を希望されていたのですが、出題数の都合で今月に回させていただきます。一ヶ月遅れでの共演実現とい

うことをご容赦ください。

**137-6**は神無太郎氏のGrasshopper(G)を使った点鏡作品。前回、前々回と同様、標準駒にG4枚が追加されています。受方持駒のGは全部使うとは限りません。今回はツイン(組局)になっており、玉位置が1マス分異なります。その違いが手順にどう影響するのでしょうか？

**137-7**は本作品展初登場のせら氏の作品。攻方玉がNightRider(夜)の利きで、受方玉が角の利きです。一見ややこしそうですが、明快な主題の作品なので、あまり難しく考えないでください。少し動かせば狙いが見えてくると思います。

**137-8**は上田吉一氏のPWC作品。序さえクリアすれば後は楽しい趣向が待っています。お見逃しなく。

**137-9**は変寝夢氏の中立駒作品。中立駒になっているのは玉なので、手番によって受方玉・攻方玉の状態が切り替わります。攻方は中立玉を自玉として見た場合に王手でなく、相手玉と見た場合に王手になる手を指さねばなりません。本局だと初形で既に自玉に王手が掛かっているので、これを防ぎつつ玉に王手を掛ける初手を選ばないといけないわけです。中立玉の感覚に慣れないという方は過去問(例：**WFP124-10**)を参考にしてください。

**137-10**は青木裕一氏の作品。これは詰将棋ではなく、作図問題の一種です。与えられた図からPWCのルールに則り、合法局面(逆算可能な局面)にするには最低どれだけの駒の追加配置が必要かを答える問題です。「合法局面」という言葉は定義が曖昧なまま使われることが多いのですが、「合法局面」の解釈の仕方によっては結果が大きく変わることがあります。本作品でそれを実感してください。なお、(C)の「十分多い」は数が具体的に示されていませんが、本図に限っては逆算の選択肢が二桁を越えれば充分だと思えます。また、これは詰将棋ではないので、攻方王手義務は課されません。解答は枚数だけでも結構ですが、それだと偶然正解ということもあり得るので、なるべく追加配置の例も挙げていただくようお願いいたします。

**137-11**は、くろねこ氏の協力自玉詰。手数が34手とやや長いですが、受方持駒制限があるため、意外と紛れは少ないはずです。とはいえ、むやみに王手を続けるだけでは詰まないの、方針をきちんと立てて解図に臨みましょう。

**137-12**は馬屋原剛氏の「最後の1ピース」作

品。137-5と同様、こちらも完全限定の3手詰の詰将棋を作れという設問です。普通詰将棋の感覚で(多少の非限定を許容して)余詰を消すのは容易ですが、「完全限定」が要求されると、たった1枚の追加で足りるか不安になりますね。もちろんそれは可能ですので、しっかり考えてすべての非限定や余詰を一掃してください。

### 解答要項

第137回分解答締切:2022年2月15日(火)  
宛先: [k7ro.ts@gmail.com](mailto:k7ro.ts@gmail.com) (メールの件名に「解答」の語句を入れてください。)  
解答メールが届かない場合は掲示板 (<http://k7ro.sakura.ne.jp/wait.html>) やブログ (<http://k7ro.sblo.jp/>) でお知らせください。

### 作品投稿について

作品投稿は随時受け付けます。原則として毎月15日の投稿まで当月号に掲載しますが、投稿作が一回の出題数(12題)を越えた場合、出題時期を調整させていただきます。宛先は解答と同じ [k7ro.ts@gmail.com](mailto:k7ro.ts@gmail.com) へ。メールの件名に「作品投稿」の語句を入れてください。添付ファイルも可。機械検討済みなら出力結果のファイル添付を推奨します。

### WFP 作品展: 年末年始の予定

来年1月は「氾濫」結果稿の作成と重なるため、WFP 作品展 12月号の新規出題と来年1月号の結果稿はお休みさせていただきます。

今後の予定は以下ようになりますので、あらかじめご承知おきください。

	12月	1月	2月
第137回	再掲	再掲	結果
第138回		出題	再掲
第139回			出題

### ルール説明

※WFPのページにまとめ資料 (<http://www.dokidoki.ne.jp/home2/takuji/wfprule128.pdf>) があるので、それも参考にしてください。

#### 【協力自玉詰】

先後協力して最短手数で攻方の玉を詰める。

#### 【ライフル】

駒を取ったとき、取った駒が元の位置に戻る。(補足)

Rifle Chess の翻案。

本来は「居ながらにして利き先の駒を取れる」であるが、「取った後で元の位置に戻る」とも

解釈できる。ここでは成・不成の選択ができるよう後者の解釈を採り、以下の細則に従うものとする

- 1)駒取り時、駒が戻るまでを一手とみなす。駒を取った瞬間だけ「自玉への王手」となったり、「行き所のない駒」になったりしても構わない。
- 2)生駒による駒取りで「現位置」「駒取り地点」のいずれかが可成地域にある場合、成・不成を選択できる。

→参照: WFP159号(第135回 WFP 作品展)  
【天竺】

玉(王)の利きが王手をした駒の利きになる。

#### 【Imitator】(■またはI)

着手をしたとき、その着手と同じベクトルだけ動く駒。この Imitator が駒を飛び越えたり、駒のある地点に着手したり、盤の外に出たりするような着手は禁止。これは王手の判定にも適用される。

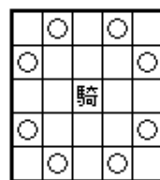
(補足)

- ・駒を打ったときは動かない。
- ・Imitator は元の駒と同時に動く

→参照: WFP75号「Imitatorの紹介」

#### 【Knight】(騎)

チェスの Knight。八方桂。



(○が騎の利き)

#### 【推理将棋】

将棋についての会話をヒントに将棋の指し手を復元する。

#### 【協力詰】

先後協力して最短手数で受方の玉を詰める。

#### 【受先】

受方から指し始める。

#### 【n解】

解が複数あり、指定されたn個の解を求める出題形式。

#### 【最後の1ピース】

出題図に指定された枚数の駒を“追加”して指定されたルール・手数の完全作にする。追加する駒は、攻方の駒、受方の駒、攻方持駒いずれでも構わない。

(補足)

ここで言う“追加”は、標準駒の範囲内で行われる「受方の駒台または駒箱から盤上また

は攻方駒台への移動」のこと。玉は駒台に移動しない。

→参照：WFP159号『「最後の1ピース」の紹介』

### 【点鏡】

55 に関して点対称な位置にある2つの駒は、敵味方関係なく互いにその性能が入れ替わる。

(補足)

・行き所のない駒の禁則は適用されない

→初出：第108回 WFP 作品展 (WFP127号)

### 【スタイルメイト】

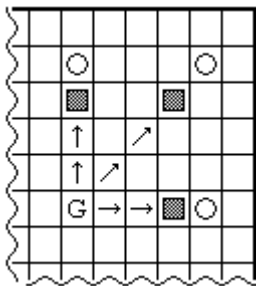
王手は掛かっていないが合法手のない状態にする。

### 【協力自玉スタイルメイト】

先後協力して最短手数で攻方をスタイルメイトにする。

### 【Grasshopper】(G)

フェアリーチェスの駒。クィーンの線上で、ある駒を1つ飛び越したその直後の地点に着地する。そこに敵の駒があれば取れる。



(○がGの利き)

(補足)

- ・飛び越える駒は敵味方どちらでもよい。
- ・パオと違って飛び越さないと動けない。動ける場所も飛び越えた駒の隣だけ。
- ・成ることはできない。
- ・2つ以上の駒は飛び越せない。

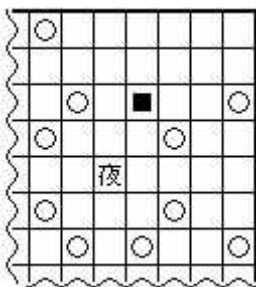
### 【協力千日手】

先後協力して最短手数で初形局面に戻す。

### 【NightRider】(夜)

フェアリーチェスの NightRider。

ナイトの利きの方向に連続飛びができる。



(○がナイトライダーの利き。■に駒があるとそこから先には利かない。)

### 【PWC】

取られた駒は取った駒が元あった場所に復元する。(駒位置の交換となる)

(補足)

戻り方等は以下の細則に従う

- 1)駒の成・生の状態は維持されたまま位置交換される。
- 2)位置交換の結果、相手駒が二歩になったり、行きどころのない駒になる場合は、通常の駒取りと同じで、盤上に戻らず、自分の持駒になる。
- 3)駒取り時、駒が戻るまでを一手と見なす。
- 4)取られた玉は復元しないものとする。

### 【中立駒】(「n」あるいは「n駒」)

どちらの手番でも動かせる駒。

(補足)

横向きの字か横にnを付加して表記。

取り方や動かし方は以下の細則に従う

- 1)中立駒の動きは現手番の駒としての動きとなる(利きが非対称な駒の場合に要注意)
- 2)中立駒は現手番の駒として成れる場合のみ、成ることができる
- 3)中立駒はどちらの手番でも取ることができ、持駒になる。この時、所属は取った側の持駒だが中立性は失わず、再び盤に戻ったときには中立駒として振舞う。
- 4)中立駒は現手番側の駒を取れない。相手側の駒や、中立駒は取れる。
- 5)中立歩による打歩詰は禁止。二歩禁も適用される。手番を問わず、中立駒の歩や通常の歩がある筋に、更に中立駒の歩を打つことはできない。
- 6)中立駒は行き所ない駒にならない。
- 7)中立駒でも自玉への王手は反則。自玉への王手となっているかどうかの判定は、現手番が終了し、相手側が着手する前に行う。

→参照：WFP61号「中立駒の紹介」

### 【詰将棋】

攻方は受方がどのように応じてても詰むように攻め、受方はなるべく詰まないように応じる。(いわゆる普通の詰将棋)

(補足)

- ・本作品展では普通の詰将棋は「詰将棋」と表記して出題する。複合ルールの場合は組み合わせるルール名の後に「詰」を付けて表す。
- ・攻方最短を要求するときは「最善詰」とする。



<第 137 回>解答締切:2022 年 2 月 15 日(火)

■ 137-1 小林看空氏作

ライフル協力自玉詰 8手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

				馬			馬	一
							王	二
								三
								四
		王						五
								六
								七
								八
								九

持駒 飛

■ 137-2 占魚亭氏作

天竺協力自玉詰 4手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

								一
								二
								三
								四
								五
								六
								七
		■						八
				王			王	九

持駒 騎

※ ■:Imitator、騎:Knight



■ 137-3 一乗谷酔象氏作

推理将棋 『都の煙とは驚いた』

「さっきの将棋、序盤から激しい駒の取り合いだったね。君が端歩を取ったら相手はすぐ6筋の手で応じたところまで見たけど、あれから、どうなった？」

「こっちの玉は2連続着手が2回あって最後55地点まで移動したんだけど、結局44手目に詰まされて負けちゃった。最後に盤面に残った駒は4枚だけだったよ」

「なんと。都の煙詰とは驚いたね」

「同じ駒の手がよく続いて、1枚の駒は9連続、別の1枚の駒は7連続2回で各々着手された。不成の手は6回だったよ」

[条件]

- 1) 44手目に55玉が詰まされた
- 2) 終局盤面の駒数は4枚
- 3) 先手が端歩を取る手に対し後手は6筋の手で応じた
- 4) 先手玉の2連続着手が2回
- 5) 2枚の駒が各々9連続、7連続2回で着手された
- 6) 不成の手が6回

■ 137-4 藤原俊雅氏作

協力詰 4手 (受先、2解)

9 8 7 6 5 4 3 2 1

								一
								二
							馬	三
				王			飛	四
				王				五
								六
				王				七
						王	飛	八
							馬	九

攻方持駒 なし

受方持駒 なし

■ 137-5 藤原俊雅氏作  
最後の1ピース・詰将棋 3手  
9 8 7 6 5 4 3 2 1

								王	一
									二
				金				王	三
									四
				金					五
									六
									七
									八
									九

持駒 なし  
※生駒 1枚追加

■ 137-6 神無太郎氏作  
a) 点鏡協力自玉ステイルメイト 6手  
9 8 7 6 5 4 3 2 1

									一
	王								二
									三
									四
									五
									六
									七
									八
								王	九

攻方持駒 香G  
受方持駒 残り全部+ G3  
※G:Grasshopper

b) 点鏡協力自玉ステイルメイト 6手  
9 8 7 6 5 4 3 2 1

									一
	王								二
									三
									四
									五
									六
									七
									八
								王	九

攻方持駒 香G  
受方持駒 残り全部+ G3  
※G:Grasshopper

■ 137-7 せら氏作  
協力千日手 16手  
9 8 7 6 5 4 3 2 1

	馬					馬	馬		一
									二
							王		三
									四
夜									五
									六
									七
									八
	馬	馬	香		香		馬		九

攻方持駒 なし  
受方持駒 なし  
※夜:Nightrider王、玉:角王

■ 137-8 上田吉一氏作  
PWC協力自玉詰 62手  
9 8 7 6 5 4 3 2 1

									一
									二
									三
									四
							金		五
								王	六
									七
		龍				銀			八
?						王	香		九

攻方持駒 なし  
受方持駒 なし

■ 137-9 変寝夢氏作  
協力自玉詰 20手  
9 8 7 6 5 4 3 2 1

								王	一
									二
									三
									四
									五
									六
									七
							歩		八
							?	王	九

攻方持駒 香  
受方持駒 なし  
※11玉は中立駒

■ 137-10 青木裕一氏作

9 8 7 6 5 4 3 2 1

						龍	龍	一
					王	玉	二	
						玉	三	
							四	
						馬	五	
							六	
							七	
							八	
							九	

持駒 なし

〔設問〕

盤面に駒を追加で配置して、PWCルール下における合法局面を

- (a) 逆算により実戦初形に逆算できる。
- (b) 千日手を無視して、逆算を無限に続けることができる。
- (c) 逆算により十分多い局面に逆算できる。

とした場合、合法局面にするには、最低何枚追加する必要があるか？

配置しなかった駒は全て後手の持駒とする。

■ 137-11 くろねこ氏作

協力自玉詰 34手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

								一
								二
								三
								四
	角				と			五
		角						六
								七
					王		王	八
				歩	桂			九

攻方持駒 歩  
受方持駒 飛桂

■ 137-12 馬屋原剛氏作

最後の1ピース・詰将棋 3手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

								王	一
						龍	桂	二	
						桂	と	三	
								四	
								五	
								六	
				龍				七	
			角					八	
								九	

持駒 なし  
※ 1 枚追加

以上





## ちょっと早い2022年年賀詰作品展

今年も終わりに近づき恒例のちょっと早い2022年年賀詰作品展。昨年は6名でしたが、今年は5名の参加となりました。お屠蘇気分ではちょっと手ごわいものもあるようですが、奮ってご解答頂ければと思います。年末年始にお考え下さい。

解答送り先：

たくぼん (takuji@dokidoki.ne.jp)

解答締切：

2022年1月16日(日)

\*\*\*\*\*

### 1番 神無太郎作

点鏡協力自玉詰6手

持駒 飛2角金4銀4桂4香4歩18Q4

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
								王	一
									二
									三
									四
									五
									六
									七
									八
王									九

持駒 角

※後手持駒にQがあります。

※一応4枚ということにしておきます。

【協力自玉詰】

先後協力して最短手数で攻方の玉を詰める。

【点鏡】

55に関して点対称な位置にある2つの駒は、敵味方関係なく互いにその性能が入れ替わる。

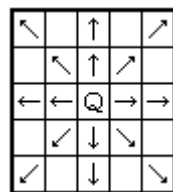
(補足)

・行き所のない駒の禁則は適用されない  
→初出：第108回WFP作品展(WFP127号)

【Queen】(Q)

チェスのQueen。飛車と角を合わせた性能を

持つ。



(矢印がQの走る方向)

【作者コメント】

どこが年賀詰だ！？と言われそうですが・・・めでたい色と一直線の攻防でなんとなくということ・・・

### 2番 占魚亭作

協力詰5手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
				龍					二
			■						三
			王	歩					四
			皇		ス				五
			馬						六
			玉						七
									八
									九

持駒 金

【協力詰】

先後協力して最短手数で受方の玉を詰める。

【Imitator (■またはI)】

着手をした時、その着手と同じベクトルだけ動く駒。Imitatorが駒を飛び越えたり、駒のある地点に着手したり、盤の外に出たりするような着手は禁止。これは王手の判定にも適用される。

【作者コメント】

盲虎を使って何か作ろうと思いましたがいい案が浮かばず、結局いつものImitatorに。初形は寅の「ト」のつもりです(ある事情から形が悪くなりました)。駒を打つ受けはありません。両王手で詰ましてください。



5番 たくぼん作

強欲協力自玉詰32手

										一
										二
										三
										四
	ス				金	銀	料			五
	香									六
	香	歩	金		銀	銀	銀			七
	垂						飛			八
	王				角	玉				九

持駒 なし

【協力自玉詰】

先後協力して最短手数で攻方の玉を詰める。

【強欲】

駒を取る手を優先して着手を選ぶ。

【作者コメント】

手を続ければ解けると思います。先手王をコロナウイルスだと思って封じ込めてください(笑)

# 第2回

## おぼかな作品展



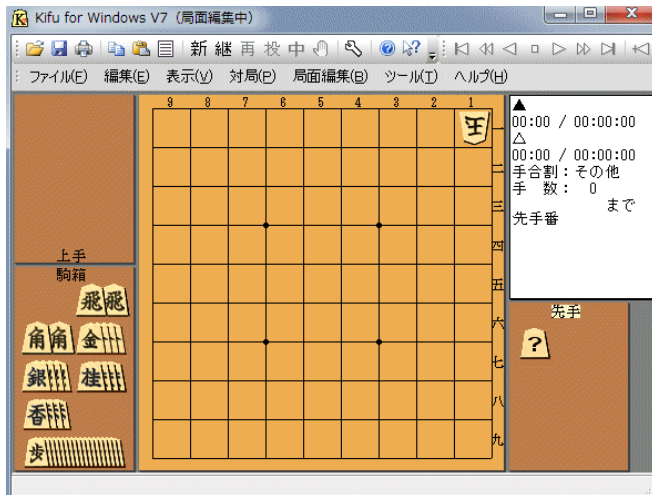
第2回おぼかな作品展ですが今月の締め切り時に解答が5名と少なかったため1ヶ月解答期間を延長することにしました。解答発表を待たれていた皆様にはお詫び申し上げます。ぜひとも年末年始に考えていただき1題でも構いませんので解答よろしくお願ひします。

### 【解答要項】

解答締切：令和4年1月12日（水）**解答延長**  
 解答発表：WFP163号（2022年1月号）  
 解答審査：なお作品の解答審査につきましてはは作者に確認の上（余詰・不詰指摘含め）したいと考えております。解答審査の期間を設けるため締切が通常の15日と異なり12日としておりますのでお間違えのないようお願ひします。

解答送り先：  
 たくぼん (takuji@dokidoki.ne.jp)  
 \*\*\*\*\*

### ① たくぼん



※図の作品は1手詰です。ルール名と持駒、詰手順をお答えください。玉は通常の玉の利きを持ちます。なお1手詰ですのでかしこ詰、協力詰はどちらでもよいのですが、本作はかしこ詰としてお答えください。

\*盤面がソフト画面なのは持駒がフェアリー駒ではない。駒箱の中は今全駒揃っていますがこの中から1枚持駒とするとお考えください。

### ② 小林看空

1/2手詰

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
					飛		科	角	一
						科			二
									三
						王			四
									五
							王		六
									七
									八
									九

持駒 なし

### ③ 小林看空

1/2手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
									四
									五
王									六
									七
									八
?	歩								九

(双方持駒なし)

? = 王が成った駒 (99の駒)

※どちらの勝か？ 理由は？







⑧ 馬屋原剛

協力自玉詰 2002手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
						桂	王		一
						飛	科	科	二
								玉	三
									四
						桂			五
									六
									七
									八
									九

持駒 歩

⑨ 馬屋原剛

協力詰 -2+1手 透明駒 (0+0)

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
王									一
									二
									三
									四
									五
									六
									七
						龍			八
									九

持駒 なし

※逆算するときには王手義務あり



⑩ 青木裕一

Anticirce協力詰 3手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
				飛					三
			王						四
									五
									六
									七
									八
									九

持駒 角

\*\*\*\*\*

(注) 各ルールの説明につきましては、WFP 作品展登場ルールのまとめをご覧ください。

<http://www.dokidoki.ne.jp/home2/takuji/wfprule128.pdf>

【解答状況】

12/20 現在 解答者数・・・5名

たくさんの解答どうぞよろしくお願いします。



第 136 回 WFP 作品展の結果を報告します。

今回の出題は全 12 題（ツインを含むため実質 13 題）。解答者数 6 名。全題正解者なし。解答の内訳は以下の通りです。

〔第 136 回 WFP 作品展成績〕（敬称略）

◎:完全正解 ○:正解 ×:誤解 -:無解

解答者名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12 <sub>a</sub>	12 <sub>b</sub>	計
たくぼん	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12
占魚亭	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12
一乗谷酔象	○	○	○	◎	○	-	○	○	○	-	-	-	-	9
変寝夢	○	○	-	-	-	○	○	○	○	○	-	-	-	7
springs	○	○	-	-	-	-	○	-	○	○	-	-	-	5
はなさかしろう	-	-	-	○	-	-	-	○	-	-	-	-	-	2

今回は実質解答者ゼロを危惧していた難問が2つありました。**136-4**と**136-12**です。**136-4**には作意解そのものの「完全正解」は寄せられなかったものの、はなさかしろう氏から本質的な条件を満たした解答が寄せられました。これは作意と異なる手順・詰上りで、非常に価値が高いと思います。また、**136-12**にもたくぼん氏が正解を入れてくださいました。作者以外正解者なしという事態を防いだ解答陣の健闘が光ります。

■ 136-1 駒井めい氏作（正解 5 名）

ライフル協力詰 7手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

									一
							歩	王	二
							香		三
									四
									五
									六
									七
									八
									九

持駒 角2

【ルール】

• 協力詰

先後協力して最短手数で受方玉を詰める。

• ライフル

駒を取ったとき、取った駒が元の位置に戻る。

(補足)

Rifle Chess の翻案。

本来は「居ながらにして利き先の駒を取れる」であるが、「取った後で元の位置に戻る」とも解釈できる。ここでは成・不成の選択ができるよう後者の解釈を採り、以下の細則に従うものとする

- 駒取り時、駒が戻るまでを一手とみなす。駒を取った瞬間だけ「自玉への王手」となったり、「行き所のない駒」になったりしても構わない。
- 生駒による駒取りで「現位置」「駒取り地点」のいずれかが可成地域にある場合、成・不成を選択できる。

【解答】

21 角 11 玉 12 角成 同玉/11 玉 22 角 21 玉  
11 角成 まで 7 手

(詰上り)

9 8 7 6 5 4 3 2 1

								王馬	一
							歩		二
							香		三
									四
									五
									六
									七
									八
									九

持駒 なし

【作者のコメント】

ライフル版の邪魔駒消去が狙いです。初手で打った角が玉の移動を妨げる邪魔駒になっており、この角を居食いで原形消去するという構成です。

【解説】

打った駒がすぐ邪魔駒になる詰将棋。有名な「待宵」第8番でその面白さを知った人も多いでしょう。邪魔駒の消去法はいろいろありますが、元の局面と消去した局面との違いが消去した駒だけの場合は「原形消去」と呼ばれます。原形消去は通常4手掛かりますが、本局は原形消去をたった2手で行います。

邪魔駒の出現は2手目。初手に打った角がいきなり邪魔駒になっています。これはちょっと気付きにくいでしょう。大抵は3手目22角を指してから、21玉とできない(21玉は玉が11に戻って自玉への王手となる)ため、別の手段がないか模索した後に、21角が邪魔駒であることに気付くのではないのでしょうか。

この局面では手に窮したように見えますが、21角を押し売りするのが妙手。普通はただの駒損になるのですが、これが「ライフル」の面白いところ。駒を取った後に元の位置に戻るので、駒損ではなく原形消去ができてしまいます。要した手数はたった2手。4手要るはずの手筋が2手で実現してしまいました。

初手からこの原形消去までを通して見ると、角1枚を捨てて玉を一段下げたことになります。斜めにしか利かない角を取らせて玉を縦に移動させる奇妙な手順です。

ここからは前回のWFP135-3(小林看空氏作)の応用編。香と馬による両王手です。詰上りで11馬には紐が付いていませんが、これを取っても玉が21に戻るのでは取れません。32歩にも紐が付いていませんが、これも取ることはできません。「ライフル」の取禁的性質を活かした詰上りです。

コンパクトな初形から、ライフルらしい原形消去と両王手。このルールの持つ可能性と魅力を感じられる作品ではないでしょうか。

余談になりますが、「原形消去」という言葉は広い意味で使われることが多く、消去された駒以外に局面の異動が生じていても「原形消去」と呼ばれることがあります。最も多いのは持駒

を消費しているのに「原形消去」と呼ぶケースです。

詰将棋としては広い意味の「原形消去」の方が面白いかもしれませんが、敢えて狭い意味の原形消去を追求するのも良いと思います。特にフェアリーでは、消去する駒以外の異動が一切生じない「純粹原形消去」から様々な手筋を習得することができます。新しいルールを見たら、そのルールで純粹原形消去ができないか、一度考えてみてください。

【短評】

占魚亭さん

玉が11にあれば、ですね。  
コンパクトに纏まった好編。

変寝夢さん

21角～33角を読んでしまった。  
筋が悪いなあ。

springsさん

一瞬で角を消去。

たくぼんさん

3手目がライフル特有の不思議な1手。

一乗谷酔象さん

21角と打った途端に邪魔駒になることになかなか気がつかなかった。

■ 136-2 小林看空氏作 (正解5名)

ライフル協力詰 19手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

									一
									二
									三
									四
									五
						馬	香	香	六
						王	王	王	七
						歩			八
						歩	歩		九

持駒 飛

【解答】

19 飛 18 香 同飛/19 飛 19 桂生/27 桂  
19 香 18 飛 同香/19 香 19 桂成/27 圭

19 飛 18 圭 同飛/19 飛 27 玉  
 28 歩 同玉/27 玉 17 飛 28 玉  
 18 飛 27 玉 19 桂 まで 19 手

(詰上り)

9 8 7 6 5 4 3 2 1

									一
									二
									三
									四
									五
						圭	飛	玉	六
						玉	王		七
						飛		飛	八
						歩		桂	九

持駒 なし

【解説】

前回、WFP135-5 で1枚の角の居不成と居成を見せてくれた作者。今回は桂の居不成と居成の登場です。

本局、2手目から「18合 同飛/19飛」を繰り返せば好きなだけ合駒を入手できます。しかし、一番欲しいのは桂です。桂は八段目に合駒できません。27桂を18に成って移動合できれば良いのですが、さすがにそれは反則です。

そこで27桂を成桂にして18に移動合させるというストーリーが浮かびます。

しかし急いで事は仕損じます。2手目すぐに居成をすると後が続きません。飛の居食いで香を補給しましょう。

しかし、それでもまだ居成はできません。仮に4手目「19桂成/27圭」とすると、以下「19香 18圭 同香/19香 27玉」と進行しますが、やはり後が続きません。

そこで一工夫。飛を居成ではなく居不成で取ります。「ライフル」は駒を取って戻るまでを一手とみなすので、瞬間的に九段目の桂が現れても構わないのです。

こうして4手目に初形から攻方持駒の飛が香に変わった局面が現れます。重要なのは受方の駒台に飛が載ったこと。今度は飛合ができるので、香で飛合を稼ぎます。ここで満を持して居成の登場。8手掛けてようやく27桂を裏返すことに成功しました。19飛に対して18圭の移動合をして、桂の入手成功です。

ここからは収束ですが、気の利いた手が登場

します。

桂の入手には成功しましたが、12手目の局面で29歩が邪魔駒になっています。そこで「28歩 同玉/27玉」で歩を消去します。先ほどの136-1でも現れた「純粹原形消去」ですね。

これで玉が28に行けるようになったので、飛の位置を変えて桂でとどめを刺します。4手目いきなり「19桂成/27圭」とした紛れと比べ、香が飛になっているので、この手順が可能になっているのです。

本局は「九段目への桂不成」という、一瞬の幻を見せる動機で作られた作品だそうですが、居不成と居成の対比や、香と飛の持駒変換等を絡め、とても巧く仕上がっています。角や金など、通常なら役に立つ駒が「ライフル」のルールと、「小さな密室」の特殊状況下では役に立たないというのも面白いですね。

【短評】

占魚亭さん

持駒変換と桂を成桂にする序奏8手が見事です。

変寝夢さん

合駒×4の趣向かと思ひ苦労した。詰め上がりも17玉37圭28歩19銀29桂と考えたが、飛と桂で詰むことがわかったら一瞬で解けた。

springsさん

「持駒飛&27成桂」の形を目指す。ライフルだからできる仕組みなのですね。

たくぼんさん

27桂が成と不成で元に戻る。世にも不思議な物語。

一乗谷酔象さん

飛は不成で取らせて香は成で取らせる対比が素晴らしい。桂不成はできないルールと勘違いして苦戦しました。

☆「ライフル」については例題も用意し、十分に準備をしたつもりだったのですが、説明不足だったでしょうか。やはり、新ルールは常設展ではなく特設展で短期集中型の出題・解答募集を行うべきなのでしょう。

■ 136-3 たくぼん氏作（正解3名）

禁欲協力詰 67手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

角	王	マ	マ	皇					一
	マ	マ	マ	皇					二
糸	糸	糸	糸	糸	糸				三
									四
									五
									六
									七
									八
									九

持駒 銀3歩2

【ルール】

• 禁欲

駒を取らない手を優先して着手を選ぶ。

【解答】

92 銀 同と 82 歩 同と左寄 72 銀 同と左上  
 82 角成 同玉 91 銀 81 玉 82 歩 同と左寄  
 同銀生 72 玉 81 銀生 61 玉 72 銀生 52 玉  
 61 銀生 51 玉 52 歩 同と 同銀生 62 玉  
 51 銀生 61 玉 62 銀生 72 玉 61 銀生 81 玉  
 72 銀生 82 玉 81 銀成 72 玉 82 全 61 玉  
 62 歩 51 玉 61 歩成 52 玉 51 と 62 玉  
 72 全 同と 52 と 71 玉 62 と 82 玉  
 72 と 91 玉 82 と 同と 92 歩 81 玉  
 91 歩成 71 玉 81 と 61 玉 62 歩 51 玉  
 61 歩成 52 玉 51 と 62 玉 61 と 72 玉  
 71 と左 まで 67 手

(詰上り)

9 8 7 6 5 4 3 2 1

		と	と	皇					一
	マ	王		皇					二
糸	糸	糸	糸	糸	糸				三
									四
									五
									六
									七
									八
									九

持駒 なし

【作者のコメント】

銀の動きがちょっと面白い1作も一緒に投稿します。

【解説】

持駒が豊富なうえ入玉型でもないので、通常なら楽勝で詰む形。しかし「禁欲」の条件が厳しく、事は容易ではありません。まずは空間を広げないといけませんが、禁欲で駒を取るにはどうすれば良いでしょう。

その答えの一つが最初の6手。空間を埋めてしまえば駒を取る手しかなくなり、禁欲でも駒を取れるのです。6手目にどの「と金」で取るか少し迷いますが、銀の使い勝手を考えると「61と」で取るのが最善と分かります。

これでようやく角で「82と」を取る手が実現しました。次に処理すべきは「72と」。そのため、「91銀 81玉 82歩」の形を作ります。これも空間を埋めて取る手しかないようにする禁欲の手筋です。これに対しては「同と左寄」で右に脱出口を空けるのが正解。この後、玉を5筋に運んで同じ要領で「62と」を消す手順を見据えています。

5筋で「62と」を精算したら、次のターゲットは「71と」。玉を8筋に運んでから、33手目に初めて銀を成るのが妙手です。これ以前に銀を成ってしまうと「71と」を消すことができません。8筋で銀を成っても事情は同じように思えるかもしれませんが、実は大きな違いがあります。ここが本局を解く上での最大の難所です。

37手目62歩が局面を打開する妙手。と金を作って、と金と成銀で玉を挟み撃ちにし、72全を「同と」とできるようにするのです。なけなしの銀を捨てるのは勇気が要りますが、と金を二段目に上げたことで、残ったと金でこれを消すことが可能になりました。

最大の難所を越えれば、53手目からは習いある収束です。ここから先「禁欲」の条件は不要。と金を1枚残して「壁」として使い、と金2枚で詰上げます。

本局は巧みな銀使いが主眼の作品で、前回の作品(WFP135-12)と一緒に投稿されました。趣向の流れに乗れば自然に解けるWFP135-12とは異なり、袋小路を脱する方法に悩まされる解図難度の高い作品だったと思います。

【短評】

占魚亭さん

銀繰りがとても楽しかったです。



壁にするために1枚残すのがポイントでした。

### 変寝夢さん (※無解)

序からして難しそう。

頭6手だけでもさっぱり当たらず。

途中で無仕掛けになるのも意外だった。

### 一乗谷酔象さん

歩活用のためのスペース作りが鍵。

最初に消えると思っていた初形 82 とが最後まで残るのが味わい深い。

序の5手目に早くも2枚目の銀を捨てる手順が指し難かった。

### ■ 135-4 一乗谷酔象氏作

(完全正解1名、条件1)2)正解1名)

### 推理将棋 『盤上の駒が3枚だけ』

「激しく駒を取りあってたさっきの将棋、どうなった？  
歩を突く手に対して端の手で応じる手と金を取る手に対し端の手で応じる手は見たけど」  
「45手で詰ませて勝っちゃった。これが投了図だよ」  
「なんと、盤上の駒が3枚だけ！煙詰だね」  
「同じ駒の手がよく続いて、4枚の駒が各々14連続、11連続、5連続、5連続で着手された。それに不成の王手が2回あったよ」

#### [条件]

- 1)45手で詰んだ
- 2)終局盤面の駒数は3枚
- 3)歩を突く手に対し端の手で応じた
- 4)金を取る手に対し端の手で応じた
- 5)4枚の駒が各々14連続、11連続、5連続、5連続で着手された
- 6)不成の王手が2回

#### 【ルール】

##### • 推理将棋

将棋についての会話をヒントに将棋の指し手を復元する。

#### 【解答】

76歩 32飛 33角生 52玉 24角生 99角成  
13角生 89馬 31角生 79馬 53角生 69馬  
同玉 37飛生 78玉 27飛生 75歩 17飛生  
23飛生 19飛生 43飛生 29飛生 41飛生 39飛生

21飛生 49飛生 11飛生 47飛生 61飛生 57飛生  
63飛生 67飛生 73飛生 87飛生 71飛生 53玉  
81飛生 64玉 91飛生 75玉 93飛生 86玉  
83飛生 97玉 87飛成 まで 45手

(詰上り)

持駒 角金2銀2桂2香2歩9

9 8 7 6 5 4 3 2 1

									一
									二
									三
									四
									五
									六
									七
王	龍								八
		玉							九

持駒 飛角金2銀2桂2香2歩9

#### 【作者のコメント】

煙詰の最短手数を探索してみました。

WFP100号の「詰めば都」が盤上4枚で最短45手だったので、盤上3枚は1手余計にかかると思っていましたが、同手数45手でした。

#### 狙い

- 終局盤上3枚、煙詰の最短手数探索問題です。
- 最短手数を探索して、後手勝ち46手で何パターンか詰形があるのは数年前から知っていました。あらためて先手勝ちの手順を探索して45手解が見つかりました。
- 奇数手数で後手玉を詰ます煙詰では、先手が19枚、後手が18枚の駒取りが必要です。更に先手の初手と後手2,4手目は駒取りができず、5手目以降で駒取り以外の手はわずか5手しかありません。その中で如何に詰形を築くか。
- 作意手順で5手目以降、駒取りでない手は次の5手

▲24角不成、▲78玉、▲75歩、△64玉、△86玉

このうち、24角不成以外の4手は左辺の詰形を作るのに必要な手です。すなわち24角不成は無駄手です。当初33角成～23馬(43馬)で進めると1手無駄手を入れる余地があることがわかり、最も早いタイミングの5手目に角不成を入れる構成としました。

- 条件1)2)を満たす手順がわかれば準正解扱い

で構いません。

【解説】

実戦初形から盤上煙となる最短手順を求めよという問題。「煙」と言っても、持駒は残って良いので、あくまで「盤上煙」です。王手義務はないので、方針は駒取効率が最優先。消す駒数を計算すると分かりますが、駒取り以外の手は8手しか指せません。

相手陣に切り込んで行くには角を使うのが効率的ですが、実戦初形は駒が横に並んでいるので、どこかで飛を活用する展開に持ち込みたいところです。また、王手が掛かると無視できないので、不用意に王手を掛けてはいけません。玉周辺の駒を取る時は要注意です。

与えられた条件は6つありますが、基本は条件1)と条件2)。他の条件は手順を限定するためのものです。各条件が作意のどこに該当しているか確認しましょう。

- 3)歩を突く手に対し端の手で応じた  
→18手目 17 飛生
- 4)金を取る手に対し端の手で応じた  
→27手目 11 飛生
- 5)4枚の駒が各々14連続、11連続、5連続、5連続で着手された  
→14連続：先手の飛、11連続：後手の飛、5連続：先手の角・後手の玉
- 6)不成の王手が2回  
→3手目 33 角生、43手目 83 飛生

要注意なのが5)の「5連続」の条件。手早く駒を取るには飛角の活躍が不可欠なので、この「5連続」は双方の角だと決めつけてしまいがちです。実は「5連続」の片方は後手玉だったので。手数が短くて厳しい中、後手玉を遠征させて詰める手順は盲点になり易いと思います。

3)~6)の条件を除いても本作は難解で、全条件を満たした正解者はいませんでした。しかし、条件1)2)を満たしつつ、作意とまったく異なる詰上りで盤面煙を達成した解答がありました。解答者は、はなさかしろう氏。その手順をご覧ください。

【はなさかしろう氏の解】((1)(2)を満たす解)

36歩 34歩 35歩 77角成 48玉 87馬  
 11角成 97馬 21馬 79馬 31馬 92香  
 93香成 57馬 同玉 35歩 83杏 44歩  
 92杏 89飛 81杏 69飛 71杏 49飛  
 61杏 同玉 13馬 39飛 23馬 29飛  
 41馬 19飛 46玉 17飛成 35玉 28龍  
 44玉 27龍 53玉 47龍 63馬 67龍  
 73馬 62龍 同馬 まで 45手

(詰上り)

持駒 飛金2銀2桂2香2歩9

9 8 7 6 5 4 3 2 1

			王						一
			馬						二
				王					三
									四
									五
									六
									七
									八
									九

持駒 飛角金2銀2桂2香2歩9

何と角道を開けない初手から始まり、先手玉がはるばる遠征して詰める驚くべき手順です。先手の飛がまったく活躍せず、ただ取られるだけというのも意外です。氏は44手解を狙っていたそうですが、この手順を見ると、未発見の44手解が眠っていてもおかしくないと思わせてくれます。

実戦初形から45手の盤上煙という不可能にも思える課題に挑み、それを実現した作者の一乗谷酔象氏と、解答者のはなさかしろう氏。両氏に拍手を送りたいと思います。

最後に関連作品を紹介しましょう。

本作は詰上り3枚のノーマルな盤上煙でしたが、WFP137-3では盤上4枚の盤上都煙が出題されています。消す駒数が1枚減るので手数は44手。これも難解だと思いますが、ぜひ挑戦してください。また「第2回おばかな作品展」の第6番でも、「おばかな将棋教室」という関連作品が発表されています。果たしてこの結果稿がヒントになるでしょうか。

【短評】

占魚亭さん (※無解)

まずは(1)と(2)の条件を満たそうと思いましたが、40手台になりません……(今の所、51手。もう少し粘るつもりですが、多分解けないだろうなあ)。

解かれたらしいはなさかしろう氏 (詰将棋おもち箱「推理将棋」のコメントから推測) は凄い。

たくぼんさん (※無解)

47手は分かったけど、あと2手が縮まらない。

はなさかしろうさん

作意解はわかりませんでした。それよりも44手を狙って、結局達成できませんでした。解答発表を楽しみにしています。

一乗谷酔象さん

果たして何名の方が挑戦されたでしょうか？

■ 136-5 上谷直希氏作 (正解3名)

強欲協力詰 19手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

王										一
										二
		王		馬						三
	香									四
銀	銀									五
										六
										七
					角					八
										九

持駒 桂4

【ルール】

・強欲

駒を取る手を優先して着手を選ぶ。

【解答】

83 桂 81 玉 71 桂成 同玉 63 桂 61 玉  
51 桂成 同玉 15 角 同飛 63 桂 61 玉  
71 桂成 同玉 83 桂 81 玉 91 桂成 同玉

82 香成 まで 19 手

(詰上り)

9 8 7 6 5 4 3 2 1

王										一
	杏									二
		王		馬						三
										四
銀									銀	五
										六
										七
										八
										九

持駒 なし

【作者のコメント】

似た狙いの既発表作はあるのですが、更に桂捨ての回数および玉の移動距離を増やしました。

手順は単純明快です。ただ成立させるのが大変で、余詰消しに大半の時間を費やしました。

どうやら 95 飛配置が良かったようです。

【解説】

解説するのが野暮に思えるほど明快な狙いを持った一幕物。

まずは初形を良く見ましょう。85 飛がいなければ 82 香成の 1 手詰です。そして、不自然に離れた位置にある 48 角が目に入ります。85 飛と 48 角の利きが交差する位置を考えると…そう、15 地点で角を飛に取らせれば良いのです。

この閃きさえあれば作意は自然に見えるでしょう。桂 2 枚を使って玉を 51 に呼び出せば、「15 角 同飛」で飛筋を逸らすことができます。これで目的は達成したので、今度は残りの桂 2 枚を使って玉を 91 に戻して、82 香成で詰み。駒を取れるときは取らねばならない「強欲」の性質を利用した楽しいミニ趣向でした。

なお、95 飛がないと、「83 桂 81 玉 93 桂 92 玉 91 桂成 93 玉 …」のように玉を角筋に呼び込む余詰筋があります。手数が長いので、余詰防止は大変ですが、それを飛 1 枚で済ませたのは作者の手腕でしょう。

また、作者のコメントにある「似た狙いの既発表作」は以下の図だと思えます。フェアリーランドで「今月の問題」として出題されたため、解答募集は行われていませんが、本局と通じる主題を楽しめます。未見の方はぜひ解いてくだ

さい。

【参考】

上谷直希

強欲ばか詰 13手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

								王	一
								王	二
									三
				罎	香				四
			罎						五
									六
									七
									八
									九

持駒 桂4

(詰将棋パラダイス,2018年2月)

【短評】

占魚亭さん

8筋に飛車がなければ、を実現。

桂打・桂成で玉を移動させる流れがとても楽しかったです。

変寝夢さん (※無解)

枠の外に出るのが予想外。

強欲ルールが脇役になっているのが、興味深かった。

たくぼんさん

楽しい一幕物。強欲ならではの一作。

一乗谷酔象さん

85 飛を退かすだけのために角桂4枚を消費。



■ 136-6 上田吉一氏作 (正解3名)

PWC協力自玉詰 24手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

								王	鬣	一
								王		二
								包	王	三
										四
										五
										六
										七
										八
										九

攻方持駒 なし

受方持駒 なし

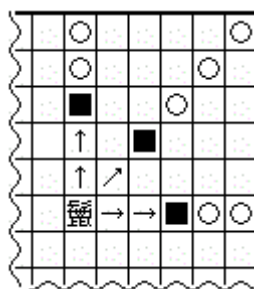
※鬣:Lion、包:Pao (象棋の包)

【ルール】

• Lion (鬣)

フェアリーチェスの Lion。

クィーンの利きの方向にある駒を1つ跳び越えその先の任意のマ스에着地する。着地点に敵駒があれば取れる。

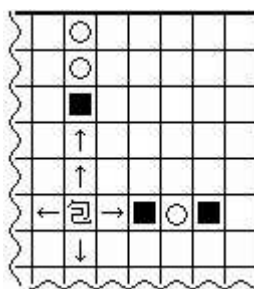


(○が鬣の利き。

■は敵または味方の駒。○の地点が埋まっていると、その先には跳べない。)

• Pao (包)

中国象棋の駒。動くときは飛車と同じ。駒を取るときは必ず一つ駒を飛び越えて取る。



(■は敵か味方の駒。○は取るときに動ける場所。矢印は駒を取らないときに動ける場所。)

(補足)

- 飛び越える駒は敵味方どちらでもよい。
- グラスホッパーと違って着地場所は飛び越えた駒の隣でなくてもよい。
- 成ることはできない。
- 2つ以上の駒は飛び越せない。





歩（と金）と Lion の趣向手順が最高でした。

たくぼんさん

頭 4 手が決まればあとは楽しい駒遊び。

■ 136-7 藤原俊雅氏作（正解 5 名）

協力詰 6 手（受先）

9 8 7 6 5 4 3 2 1

								馬	一
								龍	二
					金				三
	銀		王						四
									五
			桂	銀					六
									七
			桂						八
									九

攻方持駒 なし

受方持駒 なし

【ルール】

• 受先

受方から指し始める。

【解答】

25 飛 66 桂 同角 55 銀 同飛 44 金  
まで 6 手

(詰上り)

9 8 7 6 5 4 3 2 1

									一
									二
									三
	銀		王	金					四
			龍						五
			馬	桂					六
									七
									八
									九

攻方持駒 なし

受方持駒 銀桂

【作者のコメント】

初形で 44 金までという 1 手詰が見えている（この順をプロブレムの世界では set play と呼ぶ）。玉方はこの形を維持できる初手を指せば 44 金で詰みなのだが、生憎そのような tempo move は存在しない。角のラインを開ける手し

か選択肢がないためである。そこで初手は 25 飛とし、以下先後協力して 66 角 55 飛の形を作る。こうすることで反対側から角のラインを閉じることが出来、set と同様に 44 金までの詰上りとなる。

【解説】

攻方の手番なら 44 金の 1 手詰。でも、手番は受方です。しかも受方持駒はなく、動けるのは盤上の玉と飛のみ。そこから有効な手を選択し、残り 5 手で詰む形を作らねばなりません。

成・不成も含めて初手の候補は 20 通りありますが、どの手も問題があります。43 玉は王手が掛からなくなります。飛を動かす手は 11 角が 44 まで利いてしまいます。できればパスをしたいのですが、将棋にパスはありません。

手段に窮したように見えますが、これを打開する手段が一つだけあります。

飛を動かす手がマイナスになる原因は、角筋が 44 に通ってしまうことでした。通った角筋はまた閉じれば良いのです。

それが初手 25 飛の限定移動から始まる一連の手順。角を 66 まで呼んで、飛で角筋を止めれば 44 への利きを遮断できます。この詰型が想定できれば、角を呼び出せる位置が 66 なので、その利きを止める飛の位置は 55、55 に飛を移動するには 25 飛、という逆算方式で初手が決まります。

こうして、初形とは飛角の位置関係を逆にすることで、パスをしたのと実質的に同じ状況を実現できました。攻方駒の利きが一切重複しない綺麗な詰上りは、チェスプロブレムの用語で「model mate」と呼ばれますが、それも作者の狙いの一つでしょう。双方持駒なしで受方手番から始まるルール設定や、「set play」「tempo move」など、チェスプロブレムの Helpmate を解いている気分になりますね。

本局は手番譲渡（と実質的に同等）の手順を求める作品ですが、詰将棋の世界ではこの分野はほぼ未開拓の状態です。

これは詰将棋に攻方王手義務があるためですが、「受先」なら初手が自由に指せるので、手番譲渡を主題とした作品も創作可能となります。実際、本作品展でも WFP75-2 (soga 氏作) で受方が「受先」で与えられた手番を譲渡する作品が登場しています。「受先」の利用方法は手番絡みだけではありませんが、手番を主題とした

作品を作る場合は、その活用を選択肢に入れると良いと思います。

【短評】

占魚亭さん

受先らしさを感じるストーリー。  
面白かったです。

変寝夢さん

意外と普通の展開でびっくり。  
セットプレイの手も棋譜で表記した方がい  
いかも。

springsさん

受方持駒制限(+受先)に興味が出てきました。

たくぼんさん

詰上りが初形と飛角の位置関係が逆になる  
のはいける。

一乗谷酔象さん

敢えて復活させた角の利きを如何に消すか。

■ 136-8 変寝夢氏作 (正解 5 名)

レトロ協力自玉詰 -7+2手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

									一
								飛	二
									三
								王	四
									五
								銀 王	六
								龍	七
									八
									九

攻方持駒 なし  
受方持駒 なし

【ルール】

• レトロ -m+n 手

m 手逆算して n 手で詰む手順を求める。  
(補足)

- 1)特に注積のない場合、逆算も攻方王手義務があることを前提とする
- 2)協力系の場合逆算も双方が協力する。また、指定より短い手数逆算や短い手数詰手順が成立する場合、それが優先される。

【解答】

37 龍 27 玉 33 龍→飛 36 玉 33 飛持 35 玉  
15 銀(+26 龍)/24 銀 同龍 まで -7+2 手  
(詰上り)

9 8 7 6 5 4 3 2 1

									一
								飛	二
									三
								銀 王	四
								王	五
									六
									七
									八
									九

攻方持駒 なし  
受方持駒 銀

(逆算図)

9 8 7 6 5 4 3 2 1

									一
								飛	二
									三
								王	四
								王 銀	五
								銀	六
									七
									八
									九

攻方持駒 なし  
受方持駒 なし

(逆算図からの詰手順)

24 銀 同龍 まで 2 手

(出題図への手順)

26 銀 36 玉 33 飛 27 玉 37 飛成 16 玉  
17 龍 まで 7 手

【作者のコメント】

詰んでいる局面から戻して自玉詰にする作品を見て、やってみたくまりました。

手順的には盤面に後手の龍を置くために、先手の龍を飛にしなないといけないところが面白いかも。

【解説】

協力自玉詰を協力詰と間違えて解いたので、やり直し……のようなレトロ作品。

指定手数逆算して1手で詰ます「-m+1手型」のレトロ協力詰は本作品展でもたびたび登場しています。そのほとんどは変寝夢氏によるものですが、氏は **WFP133-10** で逆算後に長手数進める「-m+n手型 (nは3以上の奇数)」の作品に挑みました。今回はnが偶数、つまりレトロ協力詰ではなく、レトロ協力自玉詰に挑戦した作品です。

解図の方針は比較的立てやすいと思います。出題図で受方玉を詰めている駒は龍ですが、逆算後に攻方玉を詰めるのも龍だと想定できます。従ってこの龍を攻方の駒台を經由して盤上に戻してやれば良いことになります。後は、逆算手順に攻方王手義務があることや、攻方玉の周辺から離れすぎない位置で駒を動かすようにしていけば、効率よく解けると思います。

本局の場合、逆算図から条件のない「協力詰7手」で解いた場合、複数の詰め方がありますが、作り方によっては逆算図からの手順を一意にすることも可能でしょう。事実上、ルールを変えたツインとなるわけです。他にも、出題図と詰上り図が別々の形になる「レトロ立体曲詰」のような表現法もあると思います。出題図は「×」の形で、逆算図から解き直すと「○」の形で詰む作品などいかがでしょう？

レトロは「-m+n手型」にすると「-m+1手型」に比べ表現の幅が大きく広がります。この方面での今後の発展に期待したいと思います。

#### 【短評】

##### 占魚亭さん

龍を取るか取らないかで分岐。

##### たくぼんさん

後手玉を詰ました状況からの逆転自玉詰。

おもしろい発想。

##### はなさかしろうさん

龍追いは気持ちいいですね。

##### 一乗谷酔象さん

勝敗の入れ替わるレトロ。

#### ■ 136-9 kisy 氏作 (正解5名)

#### 最後の1ピース・詰将棋 5手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

						銀	銀	銀	王	一
									角	二
									香	三
									マ	四
										五
										六
										七
										八
										九

持駒 なし

※1枚追加、最終手非限定可

#### 【ルール】

##### •最後の1ピース

出題図に指定された枚数の駒を“追加”して指定されたルール・手数の完全作にする。

追加する駒は、攻方の駒、受方の駒、攻方持駒いずれでも構わない。

(補足)

ここで言う“追加”は、標準駒の範囲内で行われる「受方の駒台または駒箱から盤上または攻方駒台への移動」のこと。玉は駒台に移動しない。

→参照:WFP159号『「最後の1ピース」の紹介』

##### •詰将棋

攻方は受方がどのように応じてても詰むように攻め、受方はなるべく詰まないように応じる。(いわゆる普通の詰将棋)

(補足)

・本作品展では普通の詰将棋は「詰将棋」と表記して出題する。複合ルールの場合は組み合わせるルール名の後に「詰」を付けて表す。

・「無駄合の省略」「同手数駒余り変化は劣位変化扱い」の2つの規定が適用される

#### 【解答】

(追加配置) 受方 99 角

詰将棋 5手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

				銀	銀	銀	王	一
							角	二
							香	三
							?	四
								五
								六
								七
								八
馬								九

持駒 なし

(詰手順)

89角成 21玉 98馬 31玉 32馬 まで 5手  
(※最終手は 32銀成も可)

(詰上り)

9 8 7 6 5 4 3 2 1

				銀	王			一
					馬			二
							香	三
							?	四
								五
								六
								七
								八
馬								九

持駒 なし

【作者のコメント】

狙い:右上のみの配置から最遠への駒配置。

【解説】

本作品展では初登場の「最後の1ピース」。  
出題図に指定枚数の駒を追加して完全作を作れという、一種の作図問題です。

本局は駒を1枚だけ追加して、普通詰将棋の完全作を作れという問題です。虱潰しに全部の配置を試しては効率が悪いので、まずは条件を整理していきましょう。

基本戦略の一つは出題図をそのまま解いて、問題点を洗い出すことです。余詰だったらそれを消すように、不詰だったら詰むように追加の配置を考えます。出題図そのまま完全作だったらどうするか？ その場合は邪魔にならないような追加配置か、別の手順で完全作となる追

加配置が必要ですが、それはその時に考えましょう。

実際に本局の出題図をそのまま解くと「23角成 13と 22馬」の3手詰になります。余詰(早詰)を消す配置を考えねばなりません。23角成を防ぐのは難しそうなので、22馬を防ぎましょう。そのためには受方の駒を何か配置して、22に利かせねばなりません。

勘の良い人ならここである程度ヤマを張れると思いますが、ここは敢えて一つずつ可能性を潰していきましょう。

22に利かせるといっても、横から利かせる32金・32飛・32馬等は守備が強力過ぎて不詰になります。22に利かせるのは2手目でも構わないので、24馬や56~79角の配置も考えられますが、これも守備が強力過ぎて不詰になります。かと言って、24~46角や24銀の配置では、「23角成 13角(銀) 12馬」の3手詰が生じます。どうやら素直に対角線上に駒を置いて22に利かせるしかなさそうです。

対角線上に駒を置くといっても、33角や33銀では、「23角成 13と 33馬 21玉 22馬」まで5手駒余りの不完全作です。

では44角ならどうでしょう？

これは惜しくも不完全です。「34角成 21玉 43馬 31玉 32馬」と、「45角成 21玉 54馬 31玉 32馬」までの2つの手順が生じます。今回の出題で許される非限定は最終手のみなので、初手が異なる2つの手順は余詰扱いとなります。同様に角の置き場所が55~88でも、初手の角の開き王手の場所が非限定になります。

でも、開き王手が非限定にならない角の置き場所が一つだけありますね。そう、99です。ここなら初手は89角成しかありません。ちなみに2手目13との変化は、以下「99馬 21玉 22馬」の同手数駒余りで割り切れています。99角の配置は余詰防ぎだけでなく質駒も兼ねていたのです。

以上、最初なのでくどくどと説明しましたが、狙いは明快ですね。角の最遠配置で、開き王手の位置を限定する作品でした。盤の右上にしか駒を配置しないことで、最遠配置を引き立てているのも上手いと思います。

「最後の1ピース」は、まだ生まれたてはやはやの新しい出題形式です。この出題形式にどのようなバリエーションが生まれ、好まれていくのか、この出題形式における基本手筋や妙手

とは何か、現時点ではまだよく分かりません。しかし、作例が積み重なるにつれて、評価の基準なども確立し、作家の腕前も上がっていくでしょう。この分野のこれからの成長に期待したいと思います。

【短評】

占魚亭さん

隅に置いて角の成り場所の非限定を消すわけですね。

変寝夢さん

限定させるには隅角が一番ですね。

springsさん

普通詰将棋として出題すると 99 角が見え見えの配置になってしまうので、最後の 1 ピースで表現することで得をする一例だと思いました。

たくぼんさん

置きたくなる 99 角。意味付けも新鮮。

一乗谷酔象さん

馬の経路を限定させる最遠の角配置。

■ 136-10 馬屋原剛氏作（正解 4 名）

最後の 1 ピース・協力白玉詰 2 手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

									一
									二
									三
									四
	角						歩		五
							王		六
									七
									八
									九

持駒 なし

※ 3 枚生駒追加

【解答】

(追加配置) 受方 38 王、58 飛、69 角

協力白玉詰 2 手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

									一
									二
									三
									四
	角						歩		五
							王		六
									七
						王			八
			馬						九

持駒 なし

(詰手順) 74 角 56 飛成 まで 2 手

(詰上り)

9 8 7 6 5 4 3 2 1

									一
									二
									三
		角							四
							歩		五
						王			六
									七
						王			八
									九

持駒 なし

【作者のコメント】

9 月号のルール紹介で「透明駒に通ずるところがある」と書いたのもそれっぽいものを試作してみました。余詰（別解）が出ないような角の配置に苦労しました。

【解説】

解説の前にまずはお詫びを。当初の出題時 85 角を 84 角と誤植していました。作者並びに解答者の皆様にお詫びします。実際、誤植の図で解答され、正図で改めて解答し直していただいた方もいらっしゃいました。二度手間を厭わず再解答していただき感謝します。

では本局の解説に移りましょう。

本局の追加配置の枚数は 3 枚。ルールが協力白玉詰なので、そのうち 1 枚は受方玉です。追加する駒が「生駒」なのは非限定防止だと予想できますが、当面そのことは忘れましょう。

136-9 の解説で「出題図をそのまま解いて、問題点を洗い出す」解図戦略について説明しま

したが、この作品ではその手は使えません。玉位置が不明なので、解図ができないからです。

従って「先に詰上りを想定する」という協力自玉詰の一般的な解き方を適用します。ただし、通常の協力自玉詰と異なり、受方玉もその想定に加える必要があります。

まずは攻方玉に注目。玉の周辺は 35 を除いてすべて空いており、玉ともう 1 枚の受方駒だけで詰めるのは（不可能ではありませんが）困難です。つまり追加配置の 3 枚はすべて受方と考えられます。

次に受方の玉位置を考えましょう。それは攻方玉の近傍で、角で王手できる位置でなくてはいけません。角で王手をしたとき逆王手で詰みそうという条件も加えれば、候補は 16、38 の 2 つ。かなり絞られました。

ただ、受方玉がどちらに居ても、攻方の角が使いにくい位置にいるため「角で王手」「それを取る」「取った手が逆王手で詰み」という単純なパターンは使えません。仮に 85 角の代わりに 65 角なら「受方 27 飛、48 飛、58 玉」と配置して「47 角 同飛引成」の 2 手詰が可能ですが、実際の角の位置は 85 です。

ここで発想の転換が必要です。「角で王手」「それを取る」の代わりに、「角で王手」「合駒」のパターンを使うのです。ただし「合駒」は打つ合駒ではなく「移動合」です。最終手に合駒を打つのは「銀杏返し」のような特殊なケースを除いて詰みにはなりません。合駒を王手駒で取れば王手を解除できるからです。

しかし「移動合」なら話は別です。「移動合」が「開き王手」になっていて合駒した駒と王手した駒が別であれば、合駒を取られる手を心配する必要はありません。気にしないといけなのは逃げる手だけです。

こうして、玉位置を絞り込み、角の王手に移動合&開き王手できる形を探っていくと作意の「38 玉・58 飛・69 角」の配置に行き着きます。都合の良いことに、74 角に 56 飛成と返す着手は両王手になっており、攻方玉の 26 や 45 への逃走を防いでいます。

盤面 3 枚の簡素形で、3 枚もの追加配置を限定し、手順も鮮やかな両王手。「最後の 1 ピース」という出題形式の面白さをアピールするには格好の作品だったと思います。作者は角の配置に苦労したそうですが、他の位置だとどんな配置と詰筋があるか、皆さんも考えてみてください。

【短評】

占魚亭さん

開き王手で詰ますのはひと目。玉位置を確定させるのに少し手間取りました。

変寝夢さん

素直な手順でびっくり。

springs さん

生駒 3 枚追加の自由度で成立しているのがすごい。

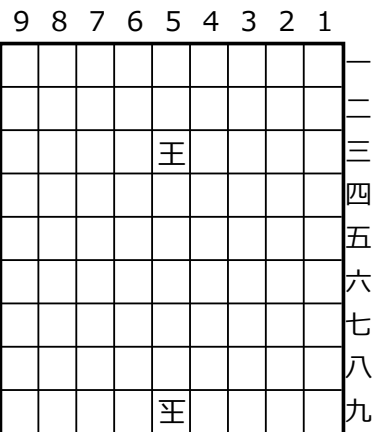
たくぼんさん

両王手は定番ですね。

☆協力自玉詰に慣れた人は、空中にいる攻方玉を見て最初から両王手にヤマを張ったようですね。でも「両王手」を誘い手にして、「両王手でない開き王手」を作意にするような作品が今後現れないとは言えません。「空中の玉には両王手」と決めつけると危険だという事も頭の片隅に置いておいてください。

■ 136-11 神無太郎氏作（正解 2 名）

点鏡協力自玉 ステイルメイト 8 手



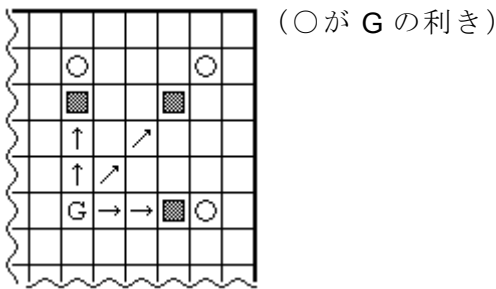
攻方持駒 飛G  
受方持駒 残り全部+ G3

【ルール】

- 点鏡  
55 に関して点対称な位置にある 2 つの駒は、敵味方関係なく互いにその性能が入れ替わる。  
(補足)
  - 行き所のない駒の禁則は適用されない
- 初出：第 108 回 WFP 作品展 (WFP127 号)

• Grasshopper (G)

フェアリーチェスの駒。クイーンの上で、ある駒を1つ飛び越したその直後の地点に着地する。そこに敵の駒があれば取れる。



(○が G の利き)

(補足)

- ・飛び越える駒は敵味方どちらでもよい。
- ・パオと違って飛び越さないと動けない。動ける場所も飛び越えた駒の隣だけ。
- ・成ることはできない。
- ・2つ以上の駒は飛び越せない。

・協力自玉スタイルメイト

先後協力して最短手数で攻方をスタイルメイト（王手は掛かっていないが合法手のない状態）にする。

【解答】

54 飛 55 G 同飛 58 G 56 G 55 G  
58 G 57 G 打 まで 8 手

(最終形)

9 8 7 6 5 4 3 2 1



攻方持駒 なし

受方持駒 飛2角2金4銀4桂4香4歩18

【解説】

「左右同形中央に手あり」を具現化したような5筋のみの着手で構成された手順。飛が消えて玉と Grasshopper (G) だけで出現する大きめの「i」。手順にも形にも統一感がある美しい作品です。

Gのようなホッパー系の駒は、跳躍台を挟ん

で対称的な位置にあると、互いが互いの跳躍先を埋めるため動けなくなります。最終形を見てください。56Gと58Gが互いに邪魔し合っていますね。この2枚に挟まれた57Gは単なる跳躍台ではありません。53王をGの性能に変えて動けなくしています。53王の跳び先は味方の56Gが埋めています。

56Gの跳び先のうち54が空いたままなので、スタイルメイトになっていないように見えますが、実はそうではありません。56Gが54に跳ぶと55Gにより王手が掛かる反則になります。これは一種のピン止め状態です。通常は「潜在的な王手駒ーピン止めされた駒ー玉」の位置関係なのに、この場合は「ピン止めされた駒ー潜在的な王手駒ー玉」になっています。136-6でもありましたが、ホッパー系の駒ではライダー系の駒と位置関係が逆になることがあります。

手順はこの最終形を目指すためのものですが、冒頭2手でGを補充するのがポイント。持駒が「飛G2」だったら「55飛58G56G55G58G57G打まで6手」で済んでいたわけです。足りない駒を合駒で補充するのは、普通過ぎて却って盲点になったかもしれません。

ところで、フェアリー駒を追加するときは4枚セットで追加するのが最近の神無太郎氏の流儀です。そのため「受方のGは全部使うとは限りません」という旨の注釈を付けるのですが、本局に限ってはGを全部使うので、今回の出題時はこの常套句を外しました。フェアリー駒を追加する時、必要な枚数だけ追加するのか、固定枚数追加するのか、手数上限で枚数を決めるのか、いろいろな流儀があって迷いますね。

【短評】

占魚亭さん

Gを補充。

変寝夢さん（※無解）

玉の位置関係から飛は5筋とは思ったが、最終形がGだらけになるとは予想外。

たくぼんさん

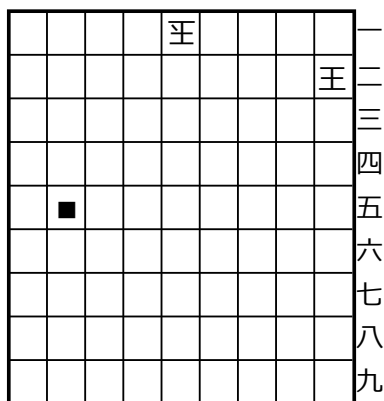
合駒のGを取る展開をなかなか読めませんでした。



■ 136-12 占魚亭氏作（正解2名）※実質1名！

a) 成禁協力白玉スタイルメイト 6手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

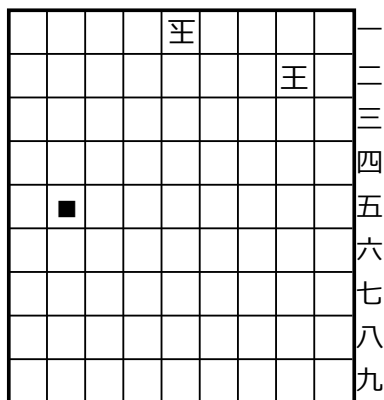


持駒 騎

※ ■:Imitator、騎:Knight

b) 成禁協力白玉スタイルメイト 6手

9 8 7 6 5 4 3 2 1



持駒 騎

※ ■:Imitator、騎:Knight

【ルール】

• Imitator（■またはI）

着手をしたとき、その着手と同じベクトルだけ動く駒。この Imitator が駒を飛び越えたり、駒のある地点に着手したり、盤の外に出たりするような着手は禁止。これは王手の判定にも適用される。

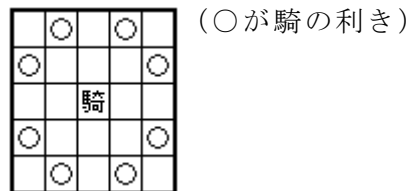
（補足）

- ・駒を打ったときは動かない。
- ・Imitator は元の駒と同時に動く

→参照：WFP75号「Imitator の紹介」

• Knight（騎）

チェスの Knight。八方桂。



（○が騎の利き）

• 成禁

手順中に成る手があってはならない。  
（補足）

- ・あくまで手順中に「成」が出ないだけ。「詰」や「王手」の概念は通常通り。

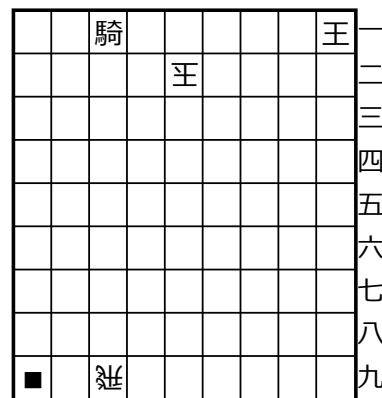
【解答】

a) 63 騎 73 飛 11 王 [I84] 52 玉 [I85]

71 騎 [I93] 79 飛 [I99] まで 6 手

（最終形）

9 8 7 6 5 4 3 2 1



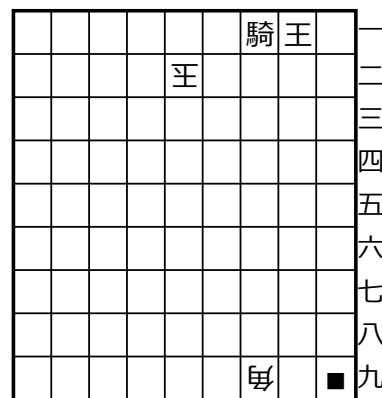
持駒 なし

b) 43 騎 93 角 21 王 [I84] 52 玉 [I85]

31 騎 [I73] 39 角 [I19] まで 6 手

（最終形）

9 8 7 6 5 4 3 2 1



持駒 なし

## 【作者のコメント】

飛車の「真向斬り」(a) & 角の「左袈裟斬り」(b)。

a と b を分ける案 (12 王、51 玉、84IM/22 王、51 玉、85IM) と 2 解にする案 (82 王、28 玉、85IM) がありますが、ツインが最善と判断しました。

a の基となった図では香を出す予定でしたが限定出来ず飛車に変更したという経緯があり、飛車を出したからには角もということで b の基となった図に着手しましたが、

かなり難儀しました(騎+IM で飛車を出すのは簡単ですが、角を出すのは難しい)。

最終手を限定させるために成禁を追加せざるを得ませんでした。結構うまく出来たかなと思っています。

## 【解説】

飛の大移動と角の大移動。大きな変化を小さな違いで実現した見事なツインです。しかも主役のはずの飛と角は初形にはありません。

この作品展で常々強調している「Imitator は盤隅に」の格言は本局でも有効です。攻方玉が二段目にいて一段目に移動する筋が見えているので、Imitator を運ぶべき場所は 19 か 99 です。Knight(騎)も一段目に動かせば、盤隅の Imitator が玉だけでなく、騎の動きを同時に封じてくれます。Imitator の運搬役は飛や角が有力ですが、a) と b) で、どちらが適任でしょう？

運命を分けるのはわずかな位置の違いです。

a) では攻方玉が 1 筋にいますので、右側の壁(盤端)をそのまま利用し、Imitator は左端、つまり 99 に移動させます。そのため、初手の騎は左側から打ち、運搬役は縦に動ける飛となります。面白いのは運搬役が香でないところ。「成禁」の条件があるので、香だと九段目まで Imitator を運べないのです。「成禁」が成・不成の非限定防止だけではなく、駒の種類に限定に使われるのは珍しいですね。

一方 b) は攻方玉が 2 筋にいます。だからといって 11 王とする筋に誘われてはいけません。攻方玉は a) と同様縦に動かします。その代わりに、初手に右側から騎を打ち、後にその騎を壁駒として利用することで、攻方玉の左への動きを封じます。攻方玉の右側への動きは Imitator を 19 に移動させて防止。運搬役はもちろん角であり、角と Imitator の斜めの大移動が出現します。こ

こでは「成禁」が成・不成の非限定防止に使われています。

本局はとても優れた作品なので、本来ならもっとたくさんの方に解いて欲しかったのですが、Imitator に加え、騎も使用されているとなれば解答者が少ないのもやむを得ません。作者以外で唯一人の正解者となった、たくぼん氏に敬意を表します。

## 【短評】

### 占魚亭さん

“成禁”がなければ完璧だったんですけど、そう上手くはいきませんね。

### 変寝夢さん (※無解)

a) 成禁にしないと香もあるんですね。

b) こっちは、純粋な成り防ぎだった。

成禁指定の目的に注目してみました。

成禁ルールを余詰防止などではなく積極的な意味で使えないか考えてみましたが、無理でした。

### たくぼんさん

a と b の見事な対比に感心しました。

素晴らしい！



【総評等】

変寝夢さん

最後の1ピースの方向性に注目しています。

たくぼんさん

昔は根性で解けていたのに、最近は気力が続かなくなりました。

はなさかしろうさん

今回は日付を1日間違えていて解答を送りそびれてしまい、今回はほとんど解けずじまい。推理将棋の大物が出題されるとどうものめり込みがちです。

☆早いもので今年のWFP作品展も最後となりました。色々失敗もありましたが、原稿提出締切遵守という最低限の目標は達成できたので、とりあえず良しとしたいと思います。個人的な目標としては（明確に宣言はしていませんでしたが）2001年～2020年に発表した自分のフェアリー作品を整理する計画もありました。これは未達成のため来年に持ち越しです。

新年に向けての作業といえば、年賀詰の創作も残っています。フェアリーの年賀詰は既に「ちょっと早い年賀詰作品展」に投稿したのですが、普通詰将棋の年賀詰はまだこれから。間に合わなければ、何かお茶を濁すような作品になるかもしれません。

☆というわけで、やれたこともあれば、やれなかったこともある一年でしたが、詰将棋に浸る時間は充分にあったので、文句を言ったらバチが当たるでしょう。来年もWFP作品展は定期開催の維持を最低限の目標としますので、中身の方は読者の皆さんの投稿と解答で盛り上げてください。それでは皆様、良いお年を。

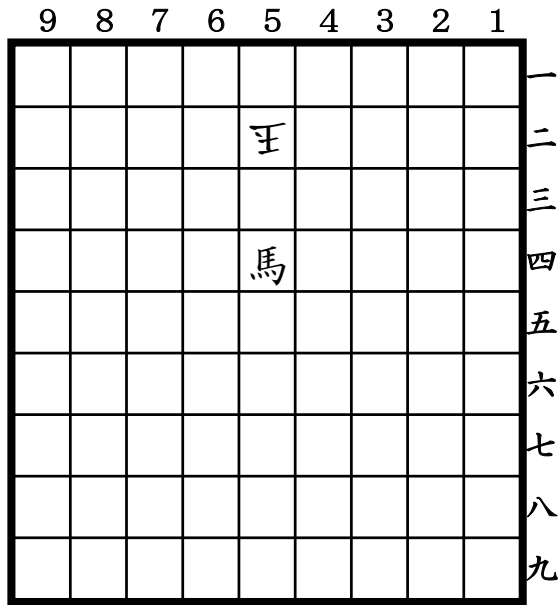
以上



おもちゃ箱 2021年11月

上谷直希作

打歩協力詰 11手



持駒 なし

打歩詰：打歩以外で詰ませる手を禁手とする。  
 (打歩詰で詰まさなければならぬ)  
 協力詰 (ばか詰)：先手後手協力して最短手順で後手玉を詰ます。

\*\*\*\*\*

双方協力して最短手順で打歩詰にせよ、という問題です。

持駒なしなので、打歩詰にするためには当然歩を合駒させて取らなければなりません。また馬と歩だけでは打歩詰にできないので、何かもう1枚合駒させる必要があります。

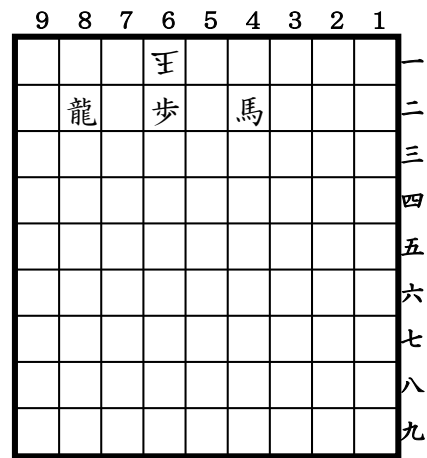
そう考えれば、強い駒を入手した方が詰めやすいので、飛合させるのがよさそう。例えば、53馬、61玉、43馬、52飛合、同馬、とすれば飛を入手できます。このあと、71玉に91飛、81歩合、同飛不成、72玉、83飛成、71玉、72歩まで？ あれ、13手かかってしまいました。74飛と縦から攻めても、73歩合、同飛成、81玉、72龍、91玉、

92歩でやっぱり13手。どこで間違えたのでしょうか。

実は初手の53馬が誤りで、正解は43馬(左右対称なので63馬でも同様)、51玉、33馬、42飛合、同馬と飛を取る手でした。さっきとは盤端との距離が違うので、62玉に92飛という手が成立して11手で詰みます。

43馬、51玉、33馬、42飛合、同馬、62玉、92飛、82歩合、同飛成、61玉、62歩まで11手

詰上図



持駒 なし

作者「打歩にしようと思えば玉を寄せることを考えると初手は53馬、61玉、43馬、52合…と進めることになると思いますが、あえて43馬、51玉、33馬…と緩めて攻めます。こうすることで92飛のスペースが生まれるという寸法です。」

端で詰まそうとするとどうやっても13手。飛を入手すれば端でなくても打歩詰にできることに思い当れば解決します。初形がシンプルで手が限られているので、打歩協力詰の入門にぴったりの作品でした。

それでは、みなさんの感想を。解答到着順です。

井上かぴさん：

馬で歩をもらおうとどうやっても手数が足りず、ようやく飛合に気づきました。

山下誠さん：  
最終的な馬の位置をどこにするかで十分悩みました。

inokosatoshi さん：  
初めてこの種の問題を解きました。11王、12歩打の筋しか思い浮かばず、13手になってしまう…3日かかりました。

占魚亭さん：  
初形・詰上り・手順、いずれも綺麗。

S. Kimura さん：  
合駒の飛車を打って、歩合させることに気づいたので、何とか解けました。カピタン展が自力で解けたのは久しぶりかも。

おかもとさん：  
最初、53玉の形で考えていてえらく悩んだが、よくみたら52玉だった。馬が遠ざかるのがちょっとした工夫。

たくぼんさん：  
初手53馬なら筋が足りなくなるのが面白いです

中村丈志さん：  
中合の好手ですね。

山路大輔さん：  
詰上がりから考えると、打歩詰の局面を作るなら端を利用した方が効率が良さそうだが…大いなる間違いだった。

池田俊哉さん：  
すぐに歩を入手したくなるがまずは飛を手に入れて攻め駒を増やす。飛が最遠限定になっているのも当然ながらうまい

\*\*\*\*\*

## 第1回最後の1ピース作品展（再掲）

\*\*\*\*\*

馬屋原 剛

### ○はじめに

このたび、「最後の1ピース」の更なる発展を目論み、作品展を開催することにしました。創作初心者からベテランまで幅広い層の投稿をお待ちしております。

### ○作品要件

- ・5手以内の最後の1ピース
- ・他ルールとの組み合わせは自由です。但し、馬屋原のキャパオーバーの作品は作者に解説をお願いする場合があります。
- ・1人2作まで

### ○スケジュール

- ・投稿締切:2022年1月31日
- ・作品掲載:WFP2022年2月号
- ・解答締切:2022年3月31日
- ・結果稿:WFP2022年4月号

### ○検討

基本的には各自で念入りに検討をお願いします。ただし、創作初心者で検討に自信がない場合は相談に乗りますので馬屋原までご連絡ください。

### ○投稿先

- ・メール:gou.umayabara@gmail.com
- ・TwitterのDM:@umanoko1525

### ○参考

- ・「最後の1ピース」の紹介:WFP159号(2021年9月号)P74~
- ・「最後の1ピース」のルール説明:WFP160号(2021年10月号)P5~

### ○投稿状況:4名(5作)

投稿してくださった方々ありがとうございます。10名を目標にしているので、投稿がまだの方、ぜひよろしく願いいたします。易しい作品大歓迎です。

# 推理将棋第144回出題解説

担当 Pontamon

144回は3題とも2桁手数なので難しめ  
 と思っていましたが、担当の予想以上に難問だ  
 ったようです。解答者コメントによると最難問  
 の作品もばらけていました。

解答を寄せていただいた13名に感謝いた  
 します。

\*\*\*\*\*

## 144-1 初級 NAO 作 高飛車くん(その6) 10手

「きょうも5段飛車を指してやったぜ」  
 「いつもの高飛車戦法だね。成る手はなくてた  
 ったの10手で詰みか。5段目への飛の手より  
 後に玉の手が2回あったね」  
 さて、どんな手順だったのでしょうか。

(条件)

- ・10手で詰んだ
- ・5段目への飛の手より後に玉の手が2回あつた
- ・成る手はなかった

\*\*\*\*\*

出題のことば(担当 Pontamon)

もうお馴染みの高飛車くんシリーズですが、  
 今回は138-2に続く10手作です。

作者ヒント

最終手は打つ手(NAO)

締め切り前ヒント

高飛車くんの勝ちで、最終手の棋譜には「打」  
 が付きます。

\*\*\*\*\*

## 推理将棋144-1 解答

▲76歩、△32飛、▲33角不成、△同飛、▲78  
 銀、△35飛、▲68玉、△77角不成、▲79玉、  
 △88角打 まで10手

(条件)

- ・10手で詰んだ
- ・5段目への飛の手より後に玉の手が2回あつた(6手目△35飛、7手目▲68玉、9手目▲79玉)

・成る手はなかった(3手目▲33角不成、8手  
 目△77角不成)

詰上り図

後手の持駒：なし

	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
皇	科	爵	王	王	爵	科	皇			一
										二
歩	歩	歩	歩	歩	歩		歩	歩		三
										四
						飛				五
		歩								六
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩		七
	銀						飛			八
香	桂	玉	金		金	銀	桂	香		九

持駒 歩

玉が2回動いて詰むと言え、そう、例の忘  
 れた頃に出題される飛先の歩成の手筋です。7  
 手詰手順なので10手だと5段目の飛の手も指  
 せそうです。参考1図は△87歩成までの10手  
 を指してみたのですが、85への飛の着手より後  
 に玉の手を2回指すために、85飛の手の前に一  
 旦▲58玉と移動したので、玉の退路を塞ぐ▲68  
 飛を指す手が回ってこず不詰みでした。

参考1図：▲86歩、△84歩、▲58玉、△85歩、  
 ▲同歩、△同飛、▲68玉、△86歩、▲78玉、  
 △87歩成 まで10手

参考1図

後手の持駒：なし

	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
皇	科	爵	王	王	爵	科	皇			一
							銀			二
歩		歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩		三
										四
	飛									五
										六
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩		七
	角	玉					飛			八
香	桂	銀	金		金	銀	桂	香		九

持駒 歩

この参考1図の手順で分かるように、5段目への飛の手より後に玉の手（これは先手玉のほ  
ず）を2回指すのであれば、7手目と9手目が先手玉の手になるはずで  
す。したがって、5段目への飛の手は5手目の先手着手が6手目の後  
手着手のどちらかになるでしょう。と言っても先手が5手目に5段目  
への飛の手を指せるのは、▲26歩、△24歩、▲25歩、△同歩、▲同飛  
しかないで、本問の場合は後手が5段目への飛の手を6手目に指す  
必要があります。

そこで次は参考2図では、4筋から飛が出ていく手筋を使ってみま  
した。6手目の△45飛よりも後に玉の手を2回（▲68玉、▲79玉）差  
しているのですが、それらは9手目と11手目になってしまった為、総  
手数に手数オーバーの12手になってしまい失敗でした。

参考2図：▲76歩、△44歩、▲同角、△42飛、▲77角、△45飛、  
▲78銀、△34歩、▲68玉、△77角不成、▲79玉、△88角打まで12手

参考2図

後手の持駒：なし

	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
一	皇	科	銀	玉	銀	科	皇			
二										
三	歩	歩	歩	歩			歩	歩		
四										
五					飛					
六			歩							
七	歩	歩	銀	歩	歩	歩	歩	歩		
八		銀						飛		
九	香	桂	玉	金		金	銀	桂	香	

持駒歩

となると、6手目に5段目への飛の着手ができる手筋は3筋から飛が出て行く鉄板手筋になるでしょう。

初手から▲76歩、△32飛、▲33角不成、△同飛。6手目は△35飛で決まっていますが、5手目は何を指せばよいのでしょうか？7手目と9手目は玉の手を指すことになりま  
すが、失敗した参考2図の詰み形が良さそうです。つまり、5手目は▲78銀で7手目▲68玉、9手目▲79

玉です。5手目から▲78銀、△35飛、▲69玉、△77角不成、▲79玉、△88角打の10手でピ  
ツタリ詰みました。

それではみなさんの短評をどうぞ。

(短評)

NAOさん(作者)「玉位置を考えると易しいかと。」

■遊び手が無ければ、2回の玉で行ける地点は限られますね。

緑衾さん「解けてみたらこれしかないという筋なのですが、なぜか苦戦しました。」

■これしかないという筋の作品の場合、失敗例の解説を作るのに苦労します。

ほっとさん「5段飛車と生角2枚の最終図がユーモラス。」

■8手詰の手筋の生角2枚の形ですが、先に角を取ってあるので2手だけの光速の詰みになりました。

RINTAROさん「76歩32飛33角不成同飛( )35飛(玉)( )(玉)( )迄10手が明かされているのに、めちゃめちゃ時間かかりました。」

■そこまで推理できているのに……。閃かない時もあるのですね。

ミニベロさん「懐かしい4-2可愛い8手の応用ですね。でも、知らないといけない難問。」

■解答強豪の方々も苦戦されたようで、担当としては意外でした。

はなさかしろうさん「難しかった。締め切り前ヒントのおかげで解けました。」

■「打」を見た瞬間だったことでしょう。

ベベ&ペペさん「77角生とはすごい手でした。」



■新たな手筋の発見は感激が大きくなります。  
(解けた時に力が抜けるときもありますが)

飯山修さん「6手目高飛車が可能な手順は2通り。最終ヒントから桂の方ではない事が判明。ただ77角がなかなか思いつかず苦戦」

■6手目高飛車には△85同飛もありました。おかげで失敗例の解説ができて、ホッ。

諏訪冬葉さん「まさか高飛車が無駄手とは」

■33地点で先手角を取った後に角筋を空ける使命があり、飛の行先として5段目を選んだようです。

\*\*\*\*\*

正解：12名

NAOさん 緑衾さん ほっとさん

RINTAROさん ミニベロさん はなさかしろうさん  
べべ&ぺぺさん 飯山修さん 中村丈志さん  
諏訪冬葉さん 原岡望さん 神在月生さん

\*\*\*\*\*

144-2 中級 Pontamon 作  
玉から3筋離れる 11手

「あっちの将棋は11手で詰んだって？」  
「10手目の玉の手から3つ隣の筋への駒成で詰んだよ」  
「自分の手番で、連続で金駒の手を指したらしいね」  
さて、どんな手順だったのでしょうか。

(条件)

- ・11手で詰み
- ・10手目の玉の手から3つ隣の筋へ駒成した
- ・自分の手番で、連続で金駒の手を指した

\*\*\*\*\*

出題のことば (担当 Pontamon)

1間龍はよく見ますが、今回は2間離れています。最終手の駒成は飛でしょうか？

作者ヒント

最終手は小駒が成る手ではありません (Pontamon)

締め切り前ヒント

最終手の駒成は惑わしで、不成でも41の玉が詰みます。

\*\*\*\*\*

推理将棋 144-2 解答 担当 Pontamon

▲76歩、△32飛、▲33角成、△42金、▲32馬、△72金、▲43馬、△82金、▲72飛、△41玉、▲71飛成 まで11手

(条件)

- ・11手で詰み
- ・10手目の玉の手から3つ隣の筋へ駒成した (10手目△41玉、11手目▲71飛成)
- ・自分の手番で、連続で金駒の手を指した (4手目△42金、6手目△72金、8手目△82金)

詰上り図

後手の持駒：なし

	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
一	皇	科	龍			王	爵	科	皇	
二		季				季		馬		
三	季	季	季	季	季	馬		季	季	
四										
五										
六				歩						
七	歩	歩		歩	歩	歩	歩	歩	歩	
八								飛		
九	香	桂	銀	金	玉	金	銀	桂	香	

持駒 銀歩2

最終手が駒成で玉から離れた筋への着手と聞くと、はてるま手筋の飛成が思い浮かびますが、本問では玉から3つ離れた筋への駒成なので1間龍の形を2間に広げたものではなく、飛以外の駒の駒成も疑ってみる必要がありそうです。

小駒が玉から3筋離れた筋へ成る場合は、空き王手しか無さそうです。参考1図の手順は、「116-3 端への桂成り」の8手目と10手目を入れ替えたもので、10手目の玉の手の4筋から3つ離れた1筋への駒成で詰むのですが、金駒の着手が△52金右の1回しかないので失敗です。

参考1図：▲76歩、△34歩、▲22角成、△24歩、▲21馬、△25歩、▲24桂、△52金右、▲15角、△42玉、▲12桂成 まで11手

参考 1 図

後手の持駒：なし

	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
一	皇	科	駒			王	駒	馬	皇	
二		飛			王	王			主	
三	歩	歩	歩	歩	歩	歩			歩	
四							歩			
五								歩	角	
六			歩							
七	歩	歩		歩	歩	歩	歩	歩	歩	
八								飛		
九	香	桂	銀	金	玉	金	銀	桂	香	

持駒 なし

大駒の角が最終手の場合はどうでしょう？

有名な両王手の筋に、▲58 飛と▲55 角の角が▲33 角成や▲73 角成とする手順がありますが、これでは玉から2つしか筋が離れていません。そこで、参考 2 図の手順では、9 手詰の両王手の手順を応用して、△22 玉を3つ離れた筋への▲55 角成の両王手で詰ましてみたものです。9 手詰の両王手では△51 金右の手がありました。参考 2 図の両王手手順では金駒の手が無いので失敗です。

参考 2 図：▲76 歩、△34 歩、▲55 角、△42 玉、▲73 角不成、△32 玉、▲82 角不成、△55 角、▲92 飛、△22 玉、▲55 角成 まで 11 手

参考 2 図

後手の持駒：なし

	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
一	皇	科	駒	王		王	駒	科	皇	
二	飛							王		
三	歩	歩		歩	歩	歩		歩	歩	
四							歩			
五				馬						
六			歩							
七	歩	歩		歩	歩	歩	歩	歩	歩	
八								飛		
九	香	桂	銀	金	玉	金	銀	桂	香	

持駒 角歩

(参考 2 図手順の類型作は、はなさかしろう作の「5 5-3 1 1 5 5 3」)

やはり、玉から3筋離れた筋への飛成でしょうか。1 間龍ではなく、玉から2 間離れている場合には玉の媚びんを抑える必要が出てきます。後手玉が1 段目の場合、同じ筋の3 段目に成駒があれば、2 段目の3 つの地点を抑えることができますし、玉の媚びんだけを考えると、玉と同じ筋の4 段目の桂や3 段目の角でも抑えることができます。これらの場合は後手の玉頭を桂以外の先手駒で抑えるか、後手の駒が配置されている必要があります。

先手は飛成を実現するために後手の飛を入手して、飛を打ってから飛成することになります。

飛と桂を入手するのなら、▲76 歩、△74 歩、▲55 角、△52 金右、▲82 角成、△42 金寄、▲81 馬、△32 金上、▲72 飛、△41 玉、▲71 飛成 の手順のように▲55 角から▲82 角成で飛を取り、▲81 馬で桂を取る手順が効率良さそうですが、▲44 桂の手が回ってこないの不詰みです。となると、5 手目に32 か42 で飛を取る手順が有力です。▲76 歩、△42 飛、▲33 角不成、△32 金、▲42 角不成では王手を掛けてしまうので金駒の連続着手になる△33 金を指せません。ということで飛を取るの32 地点が良さそうです。初手から▲76 歩、△32 飛、▲33 角成で馬を作り次に▲32 馬で飛を取りますが、▲33 角成が王手になっているので後手の応手が必要です。ここは△42 金で合い駒をすれば10 手目に△41 玉で玉移動ができそうです。4 手目からは△42 金、▲32 馬です。金駒の連続着手が必要なので6 手目からは△52 金、▲43 馬、△42 金で金の連続着手のクリアと玉頭3 地点を▲43 馬で抑えて、9 手目から▲72 飛、△41 玉、▲71 飛成で詰みのような気がしましたが、不得手なこの暗算では初期配置 61 の金が居座っているため▲71 飛成が王手になっていませんでした。

王手の合い駒として動いた△42 金はそのままにして、6 手目からは△72 金、▲43 馬、△82 金として飛の打ち場所の72 を空けて、9 手目から▲72 飛、△41 玉、▲71 飛成 で詰みとなりました。

それではみなさんの短評をどうぞ。

(短評)

NAOさん「10手目玉がよく利いている。3連続金の手で解決。」

■居玉のままなら△42銀を▲33馬でピンしての▲21飛成で詰める形も可能ですが、10手目に玉を動かさないといけない課題が厄介。

緑衾さん「金駒の手2回はシビアだなと思っていたら解答は3回でした。」

■手順を限定させるために「3回連続」のように回数を指定する条件を使うことがありますが、単に「連続」なら2回以上の連続回数全てが当てはまります。「3回連続」ではなく「連続」の表現なので2回だと早合点すると嵌まっています。

ほっとさん「3作中、一番時間がかかった。金駒3連続が心理的にやりにくい。」

■「金」と言わずに「金駒」なので金銀の組み合わせもありそうな感じがします。

RINTAROさん「詰め上がり図の予想がつくので、解きやすかったです。」

■▲81飛に71の角が▲53角成する空き王手の形が原理図ですね。

ミニベロさん「ヒント待ちも全然分からない。締め切り前にやっと解けました。馬で周りを抑える順がなぜか全然見えなかった。」

■△32金、△42飛を▲42角不成で取ってから▲33角成、▲43馬だと手数オーバーになります。

はなさかしろうさん「条件の表記がピンと来なくて、どうも解けている気がしないのですが…ちょっと思いつきにくい手順でした。」

■「10手目は玉」「最終手は後手玉から3筋離れた筋への駒成」のように分けた方が良かったかな。

ベベ&ペペさん「ヒントを見てもわかりません。やはり71飛成まででしょうか？」

■ヒントで玉は41だと判明しているので、飛成だとすれば▲11飛成か▲71飛成ですね。

飯山修さん「61金は間者だったのか。偵察に行くと言って出て行ったまま戻らないばかりか、敵の侵入口をわざと開けた形跡がある」

■お使いができない、行ったきりの子を鉄砲玉と。(よく言われた)

\*\*\*\*\*

正解：8名

NAOさん 緑衾さん ほっとさん  
RINTAROさん ミニベロさん はなさかしろうさん 飯山修さん 原岡望さん

\*\*\*\*\*

144-3 上級 ミニベロ 作  
三捨利警部の推理 乏しい証拠 12手

「警部、12手詰の事件が発生しました」

「役に立つ証拠が少ないね」

「5手目は同歩、9手目は金右。そして、不成は最終手だけで、成る手なし。侵入経路ですが、3階の廊下は通っていないようです」

「危ない証拠は残さない。犯人は相当悪知恵が働く奴だな」

難事件のようです。一緒に手順を推理してください。

犯人より

「悪知恵が働く奴」じゃなくて「知能犯」と言ってもらいたいね。

さて、どんな手順だったのでしょうか。

(条件)

- ・12手詰
- ・5手目は「同歩」
- ・9手目は「金右」
- ・不成は最終手だけで、成る手なし
- ・3筋の着手なし

\*\*\*\*\*

出題のことば(担当 Pontamon)

先手陣への後手着手は1手だけ? 駒打ち可能だし中段玉もあり得る証拠だ。

作者ヒント

「右」は、「左」じゃ詰まないのので、左右を指定しているわけではないのです（ミニベロ）

締め切り前ヒント

「金右」はもちろん 49 に居た金が動く手。  
「同歩」は 2 筋。

余詰修正

会話の「こんなところですか」を「侵入経路ですが、3 階の廊下は通っていないようです」に変更

条件に「3 筋の着手なし」を追加

\*\*\*\*\*

推理将棋 1 4 4 - 3 解答 担当 Pontamon

▲26 歩、△14 歩、▲25 歩、△24 歩、▲同歩、△13 角、▲68 玉、△22 飛、▲59 金右、△24 飛、▲56 歩、△28 飛不成 まで 1 2 手

(条件)

- ・ 1 2 手詰
- ・ 5 手目は「同歩」（5 手目▲24 同歩）
- ・ 9 手目は「金右」（9 手目▲59 金右）
- ・ 不成は最終手だけで、成る手なし（12 手目△28 飛不成）
- ・ 3 筋の着手なし

詰上り図

後手の持駒：飛歩

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
皇	科	銀	王	金	銀	桂	皇		一
									二
歩	歩	歩	歩	歩	歩			皇	三
								歩	四
									五
				歩					六
歩	歩	歩	歩		歩	歩		歩	七
	角		玉			皇			八
香	桂	銀	金	金		銀	桂	香	九

持駒 歩

成る手なしで最終手にだけ不成が付くとのことなので、先手陣内での着手は最後の不成の手だけか、あったとしても駒を打つ手しかありません。最終手が中段で不成が付くのであれば、先手陣内へ打った駒を中段に引いての「不成」の可能性もあります。または中段玉の可能

性もあります。しかし、中段玉を詰める形としては成駒の着手が必要な手順や、△33 飛が中段へ移動しての 22 の角による空き王手や両王手の形が多く、この場合は飛の手に不成は付きません。

困った時には空き王手や両王手を検討してみるといふ助言は作者のミニベロさんの「覚えておきたい推理将棋の基礎知識」講座での言葉です。担当が約 2 年前の亥年の年賀詰で WFP へ投稿した作品が 67 歩不成までの空き王手作でした。参考 1 図は手順は違いますが、詰み上がりと同じになる手順です。確かに、成る手はなくて、最終手だけに不成が付いていますが、5 手目が同歩や 9 手目が右の着手ではないので作意順ではありません。

参考 1 図：▲76 歩、△64 歩、▲77 角、△65 歩、▲86 角、△66 歩、▲68 玉、△34 歩、▲77 玉、△62 飛、▲78 飛、△67 歩不成 まで 12 手

参考 1 図

後手の持駒：歩

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
皇	科	銀	王	金	銀	桂	皇		一
			飛				皇		二
歩	歩	歩		歩	歩		歩	歩	三
						歩			四
									五
		角	歩						六
歩	歩	玉	歩	歩	歩	歩	歩	歩	七
		飛							八
香	桂	銀	金		金	銀	桂	香	九

持駒 なし

次は 5 手目の同歩と 9 手目の右の手に留意して指してみます。5 手目の同歩なら初手から▲46 歩、△34 歩、▲45 歩、△44 角、▲同歩で角を取る手があります。攻めの要の角を差し出した後手は 4 筋へ飛を振って、飛先の歩を進める手筋くらいしか無さそうです。参考 2 図は、5 手目の同歩と 9 手目を金右で条件をクリアした手順ですが手数オーバーの 14 手なので失敗です。

参考 2 図：▲46 歩、△34 歩、▲45 歩、△44 角、▲同歩、△同歩、▲48 玉、△42 飛、▲59 金右、△45 歩、▲49 角、△46 歩、▲16 歩、△47 歩成 まで 14 手

参考 2 図

後手の持駒：歩

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
皇	科	爵	王	王	飛	科	皇		一
									二
歩	歩	歩	歩	歩			歩	歩	三
									四
									五
								歩	六
歩	歩	歩	歩	歩	玉	歩	歩		七
	角				玉	飛			八
香	桂	銀	金	金	角	銀	桂	香	九

持駒 なし

余詰修正によって 3 筋の着手が禁じられたので、後手は角を使わずに 6 筋の歩と飛だけで指す、▲66 歩、△62 飛、▲65 歩、△64 歩、▲同歩、△同飛、▲58 玉、△65 歩、▲59 金右、△66 歩、▲68 玉、△67 歩成であれば 12 手で詰ますことができますが、参考 2 図もこの手順も最終手は不成ではなく成でなければ詰まないの失敗でした。

5 手目の同歩の手では、同歩で後手の角を取る（66、55、44 地点）か、4 段目の同歩で歩を取る手しかないようです。後手が角を差し出さなくて 4 手目に歩を付いての 5 手目同歩なら、後手に 1 手の余裕ができます。何か有効な手を指して、なおかつ、6 手目以降で後手の駒を働かせるにはどの筋が良さそうでしょうか？ 8 筋なら後手の飛を活用して、6 手目△85 同飛の後、△88 飛成で角を取って、角と龍で攻めたいところですが、先手陣へ入り込むのは不成での最終手しか許されません。

他の筋だと 2 筋くらいでしょうか。5 手目の▲24 同歩までに後手には 1 手の余裕があるので、△14 歩を突いておけば、後半で△13 角を指せますし、角が移動すれば△22 飛と 2 筋から飛が出て行くこともできそうです。初手から、▲26 歩、△14 歩、▲25 歩、△24 歩、▲

同歩、△13 角と指した後、△22 飛から△24 飛で後手の歩を取るのが 10 手目になってしまい、後手に残された手は 1 手しかないの、詰みそうな気がしません。先手の 7 手目、9 手目、11 手目で詰み形への協力手が可能だと言っても、後手の駒配置は△13 角と△24 飛だけです。残された最終手は不成の手を指さないといけないので、△27 飛不成か△28 飛不成か△29 飛不成の 3 手のうちのどれかです。

5 手目にとった歩を▲27 歩と打って、▲48 玉、▲38 玉で移動しても△27 飛不成では王手になりません。かと言って、▲48 玉、▲38 玉、▲28 玉で飛の利きへ飛び出して行くのは王手放置の反則です。それにこの手順では 9 手目の右の着手ができていません。7 手目▲48 玉で 9 手目に▲58 金右にして 11 手目に▲28 銀で最終手△28 同飛不成の王手をして 59 や 39 の退路があります。

△13 角と△24 飛の配置を見ていると突然、両王手の形が見えてくることでしょうか。つまり、7 手目から▲68 玉、△22 飛、▲59 金右、△24 飛、▲56 歩、△28 飛不成で両王手の完成です。

NAOさんと緑衾さんからいただいた余詰手順は△15 角で▲48 銀をピンしての△39 飛不成までの手順でした。粗検、大変申し訳ありませんでした。

余詰手順例

▲36 歩、△32 飛、▲35 歩、△34 歩、▲同歩、△同飛、▲68 銀、△33 角、▲58 金右、△15 角、▲48 銀、△39 飛不成 まで 12 手

それではみなさんの短評をどうぞ。

(短評)

ミニベロさん(作者)「レアな条件なので難解だと思ったのですが、あっさり潰されました。ご迷惑をおかけしました。」

■粗検、申し訳ありません。担当の力不足です。

NAOさん（双方解）「向かい飛車がぴったり間に合うとは痺れました。修正で3筋を封じられて全く詰む気がしなかった。中間ヒントは参考にならず、作者名が両王手のヒント。」

■作風がヒントになりましたか。解説の参考1図も作者の作風から推理した失敗手順でした。

緑衾さん（双方解）「7筋の歩を突いていくのだとばかり思っていました。両王手だろうとは予想していたのですが2筋は盲点でした。」

■先手なら▲15角と▲24飛が▲22飛成での両王手があったような…。△13角と△24飛が△28飛不成のスケールの大きさに感嘆。

ほっとさん「両王手の筋を偶然発見。」

■閃きやツキも実力のうち。

RINTAROさん「「同歩は2筋」のヒントが大きかったです。」

■9手目の右の手を▲58金右だと決め込むと危うかったかも。

はなさかしろうさん「綺麗な詰め上り。締め切り前ヒントで同歩は2筋と教えてもらわないと思いつかない筋です。」

■綺麗な両王手の詰み上がりですね。

べべ&ぺぺさん「5手目の2筋での同歩で、かなり限定されていると思うのですが解けません。残念です。」

■困った時は、両王手や空き王手を疑えと言われても景色が見えないと中々…。

飯山修さん「桂で飛をとる手順しか思いつかないが届かない。難しい。」

■余詰修正で3筋着手が禁止されたので、▲26歩、△14歩、▲25歩、△24歩、▲同歩、△13桂、▲25飛、△同桂の後に飛を打ってから最終手で8段目へ飛不成としても詰みの形を作れません。

諏訪冬葉さん「5手目の同歩は2筋なら24歩しかありえないのでそこから考えました。」

■5手目に同歩で後手角を取ってしまうと後手の攻めが止まってしまうそう。

原岡望さん「降参です

5手目は25同歩 か 24同歩 しかなく前者は 26歩 24歩 27飛 25歩 同歩以下絶望

後者は 26歩 14歩 25歩 24歩 同歩13桂 25飛 同桂 58金右 で 3筋に打てないのでは絶望参りました」

■13桂のところで13角が正解。と言ってもその先の形も見え難いですね。

\*\*\*\*\*

正解：7名

NAOさん 緑衾さん ほっとさん

RINTAROさん ミニベロさん はなさかしろうさん 諏訪冬葉さん

\*\*\*\*\*

総評

緑衾さん「今回は3問とも苦労しました。」

■さて、145回は如何に？

ほっとさん「今回は難しかった……。」

■難問だった中、ヒント投入前の全問正解は流石です。

RINTAROさん「144-1のおかげで、解くのが遅くなりました。」

■初級で完全に嵌まってしまったようですね。

ミニベロさん「最近、条件を見ても景色がすぐに浮かんでこない。私は理屈で解くわけではないので、見えないとまるでダメ。巧妙な条件の幻惑されています。」

■悪魔系条件の作品だと、条件を見ても景色が見えないと他の解答者から言われそう。(笑)

はなさかしろうさん「今回はどれも難しかったので、素直に締め切り前ヒントを待ちました。今、Web Fairy Paradise で一乗谷酔象さん作の煙詰の最小手数探索が出題されていて

(WFP 作品展 136-4「盤上の駒が3枚だけ」と第2回おぼかな作品展⑥「おぼかな将棋教室」の2問)かなり嵌りました。」

■「嵌りました。」の過去形、解けたのですね。担当は7手目で嵌ってます。(今朝(11/11)の寝床で7手目が見えた気がするけど勘違いかも)

べべ&ぺぺさん「今月はあまり時間を費やせませんでした。」

■コロナ禍も下火になり、行動制限が緩められて、することが増えたのでしょうか。

飯山修さん「今年も直前ヒント頼りで何とか2題が多いまま過ぎた。来年はどうなる事やら」

■2021年最後の第145回は3題正解を目指しましょう。

中村丈志さん「詰め将棋同様、絶対に駒を動かさずに解くことにしているので、私の実力ではなかなか全部解けません。」

■暗算で解くのは大変ですね。担当の棋力では到底無理です。(^^;

諏訪冬葉さん「144-2は時間切れでした。」

■144-3の方が正解者数は少なかったのですが、今回は人それぞれで難問が分散していたようです。

原岡望さん「今月もヒント頼みです」

■今回は難しかったようです。

神在月生さん「故あって全く時間が取れない状況で、当面は解答を休ませていただいております。

今回は解答者が極少とのことなので、一問だけですが急遽解答いたします。」

■担当がTwitterで呟いたせいで急遽解答していただいたのですね。無理なさらずに都合がつくときの解答で結構ですよ。

占魚亭さん「参った……全く見えない……。ということで、今回は白紙解答です(すみません)。」

■白紙解答も解答者数にカウントさせていただきます。感想だけでも結構ですのでよろしくお願ひします。

担当から：

2022年は元旦の年賀特集からの開始です。まだ年賀詰めの投稿を募集中ですので、是非、作者としての参加をお願いします。

日付や干支と関連していなくても、「2022年の指し初めはこんな将棋だった」を会話の最初に入れば通常作品も年賀推理に早変わり！！

\*\*\*\*\*

推理将棋第144回出題全解答者： 13名

NAOさん 緑衾さん ほっとさん

RINTAROさん ミニベロさん はなさかしろうさん べべ&ぺぺさん 飯山修さん 中村丈志さん 諏訪冬葉さん 原岡望さん 神在月生さん 占魚亭さん

\*\*\*\*\*



## 長谷繁蔵（天津包子）さんを偲んで

数日前にツイッターを見ていたら、長谷繁蔵（PN. 天津包子）さんが亡くなられたと書かれていた。心よりご冥福をお祈りします。長谷さんはフェアリー作品を数多く発表されていて、詰パラのフェアリーランドの登場回数も60回を越えられていて、発表作はほぼ短編の協力詰（ばか詰）でした。有名な作品は次の作品。

長谷繁蔵 詰パラ2004/4

協力詰 5手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
				馬	王	馬			四
									五
				龍		龍			六
									七
									八
									九

持駒 なし

一度は目にしたことがある方が殆んどだと思います。難解で有名な作品です。

そして私は長谷さんといえば年賀詰の協力詰が思い浮かびます。短く簡単な作品ですがなかなか味があるものが多くていつも感心しておりました。

四百人一局集によると昭和11年生まれということですので85歳になるかと思います。年賀詰の発表が2016年の5年前が最後の発表となっていましたので、私も少し気にはなっていました。が、実に残念です。短編の協力詰はフェアリーへの入口になっている所ですので佐々木寛次郎さんと共に多大なる貢献をされてきたと思います。

今号ではおもちゃ箱を参考にさせていただき長谷さんの年賀詰の変遷をご覧頂きたいと思っております。正解手順は後ろのページに載せておきますのでぜひ実際に頭で考えてみてください。

また是非来年の年賀詰を短編協力詰で創作してみてください。私もこれから考えてみようと思います。

2007年（平成19年）年賀詰

天津包子

協力詰 5手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
						角			三
						王			四
						桂			五
						金			六
									七
									八
									九

持駒 銀

b)57金→銀

2008年（平成20年）年賀詰

天津包子

協力詰 7手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
								と	一
						雀		科	二
						と		王	三
						歩		爵	四
							角		五
									六
									七
									八
									九

持駒 銀

2009年（平成21年）年賀詰

天津包子

協力詰 5手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
								角	四
						爵		進	五
						進		王	六
						金		入	七
									八
								歩	九

持駒 金銀

2010年(平成22年)年賀詰1  
天津包子

協力詰 5手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
							飛		一
						飛	王		二
							王		三
							飛		四
						入	飛	銀	五
									六
									七
									八
									九

持駒 飛

2010年(平成22年)年賀詰2  
長谷繁蔵

協力詰 7手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
							飛		一
							と		二
						桂	王		三
						歩			四
						銀			五
									六
									七
									八
									九

持駒 銀

2011年

(平成23年)年賀詰1  
天津包子

協力詰 7手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
				角					三
		飛	王	王	桂	桂			四
		入				桂			五
						飛			六
				桂					七
									八
									九

持駒 桂

2011年(平成23年)年賀詰2  
天津包子

協力詰 5手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
						桂			二
		飛	歩	王	王	銀			三
		龍				飛			四
						飛			五
						王			六
									七
									八
									九

持駒 飛

2012年(平成24年)年賀詰  
天津包子

協力詰 5手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
			飛	王	桂	桂	王		一
				飛			王		二
				飛	歩				三
				王	飛	玉			四
									五
									六
									七
									八
									九

持駒 金銀

2013年(平成25年)年賀詰  
天津包子

協力詰 5手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
			飛	飛	桂				一
									二
			飛	王	銀				三
									四
					角	香	玉		五
									六
									七
									八
									九

持駒 なし

2014年（平成26年）年賀詰1  
天津包子

協力詰 5手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
									四
							馬		五
									六
								王	七
									八
									九

持駒 香

2014年（平成26年）年賀詰2  
長谷繁蔵

協力詰 5手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
									四
							馬		五
									六
									七
									八
						王			九

持駒 なし

2015年（平成27年）年賀詰  
天津包子

協力詰 5手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
				馬	香	王	飛		一
									二
				飛	香	香	香		三
									四
									五
									六
									七
									八
									九

持駒 歩

2016年（平成28年）年賀詰  
天津包子

協力詰 9手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
									四
									五
									六
									七
							王		八
									九

持駒 銀桂歩2

\*\*\*\*\*

長谷さんへのコメントがある方はメールにて連絡ください。追記で掲載していきます。

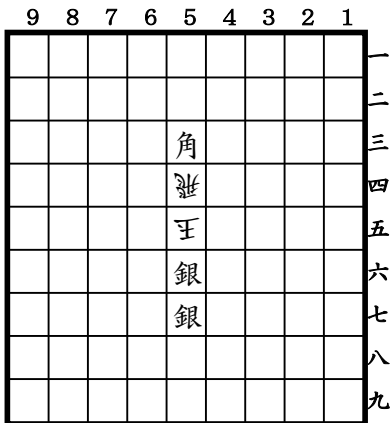
2007年（平成19年）年賀詰

a)44角成 65玉 74銀 同飛 66金 迄 5手

☆結構難解な手順。74銀は空間に捨てる捨駒なので相当見え難い。

b)46銀 56玉 57銀 55玉 56銀打迄 5手

詰上図

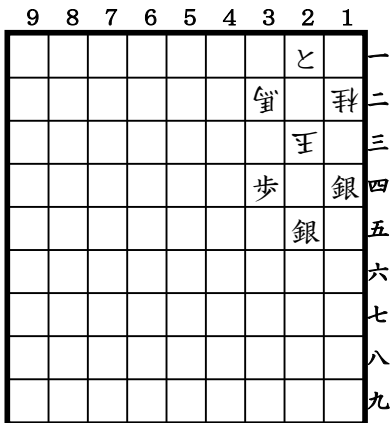


☆こちらが多分本命の年賀詰で「1」→「1」の立体曲詰。56桂消去がさりげなく入る。

2008年（平成20年）年賀詰

23と 同玉 14角 同玉 25銀 23玉 14銀打迄 7手

詰上図

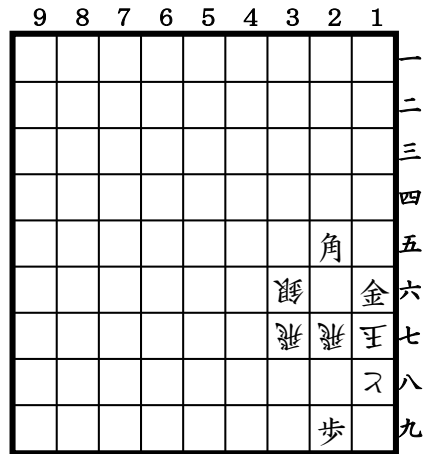


☆「0」→「8」の立体曲詰。馬の配置が巧みで全て限定している。

2009年（平成21年）年賀詰

26銀 同飛 27金 同飛上生 16金 迄 5手

詰上図

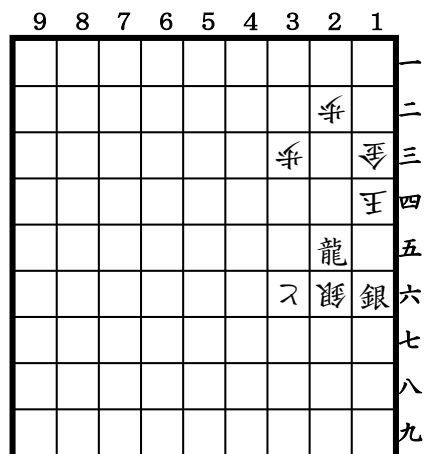


☆「0」→「9」の立体曲詰。最終手16金を打つために飛を移動させる連続捨駒は協力詰では珍しいかもしれない。

2010年（平成22年）年賀詰1

24飛 同玉 23飛 14玉 25飛成 迄 5手

詰上図



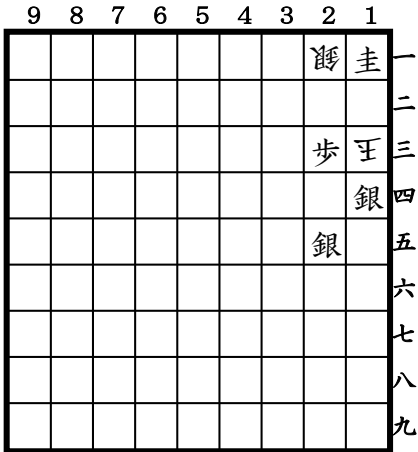
☆「2」→「2」の立体曲詰。初形の25飛がひっくり返って龍となり詰上る。配置も完璧で33歩がないと15飛、23玉、33飛、24玉、13飛行成迄の詰みが生じ、36とがないと15銀、25玉、23飛、16玉、26飛

成迄の詰みが生じる。佳作！

2010年（平成22年）年賀詰2

12と 同玉 11桂成 22玉 23歩生 13玉 14銀打 迄 7手

詰上図

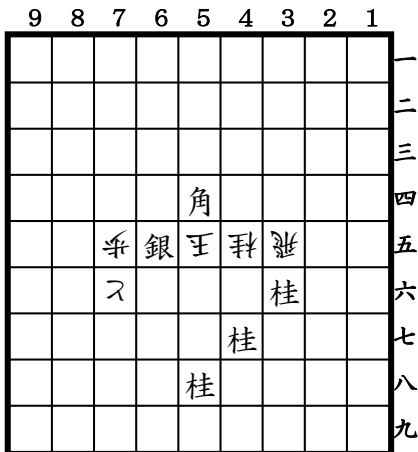


☆「ト」→「ラ」の立体曲詰。この年はいつもの天津包子名義の他に長谷繁蔵名義でも1作発表されている。かわいらしいトラの出現ではあるが、最終手24銀打でも詰んでいるので余詰作。協力詰でも最終手希望限定でいいじゃない？という作者の声が聞こえてきそう。

2011年（平成23年）年賀詰1

57飛 56銀 同飛 同玉 65銀 55玉 47桂 迄 7手

詰上図

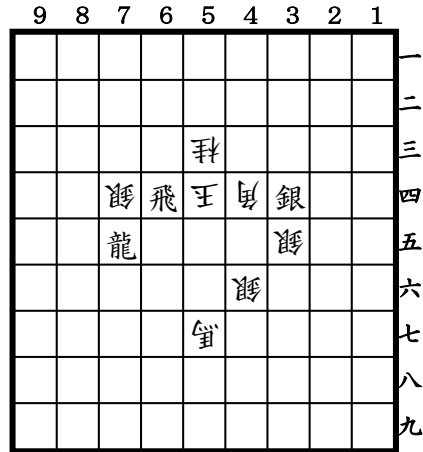


☆「ウ」→「ウ」の立体曲詰。初形と詰上りの違いは65銀の向きと47飛→桂。粋ですね。

2011年（平成23年）年賀詰2

45龍 64玉 75龍 54玉 64飛 迄 5手

詰上図

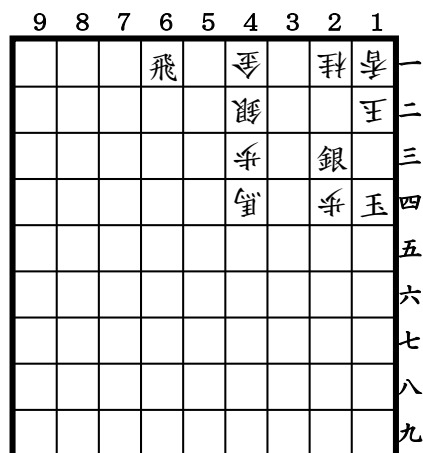


☆この年は、天津包子名義でもう1作発表されている。こちらも「ウ」→「ウ」の立体曲詰。64歩の邪魔駒を消して64飛までのいつもの展開。こちらは狙いを最短で表現されていて好感触。

2012年（平成24年）年賀詰

22歩成 同玉 12金 同玉 23銀 迄 5手

詰上図



☆この年は趣を変えて何の字形かと思いきや「12」→「12」の立体曲詰。双玉も珍しい。私は初め22歩成、同玉、31銀、同金、

23 金迄かと思ってましたが、自分の玉を素抜かれていました（笑）これまでと同様に初形の 23 歩が銀に変わる順ですが 12 金は良い手だと思います。

2013 年（平成 25 年）年賀詰

44 銀生 52 玉 53 銀生 43 玉 33 飛 迄 5 手

詰上図

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
			銀	香	玉				一
									二
			銀	王	飛				三
									四
				角	香	玉			五
									六
									七
									八
									九

☆「ミ」→「ミ」の立体曲詰。これまでの構成とはやや異なり受方の飛を取って詰める。2 手目 42 玉でも同じと思ったあなた、玉を素抜かれてますよ。

2014 年（平成 26 年）年賀詰 1

36 馬 28 玉 29 香 17 玉 27 馬 迄 5 手

☆初めて初形が文字や数字ではなかった。平成 26 年の午（うま）年ということで初形 26 馬配置でした。手順はシンプル。

2014 年（平成 26 年）年賀詰 2

16 馬 27 飛 同馬 39 玉 49 飛 迄 5 手

☆この年はもう 1 作長谷繁蔵名義で発表。手順は定番の順。

2015 年（平成 27 年）年賀詰

43 馬 31 玉 32 歩 41 玉 52 飛成 迄 5 手

詰上図

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
				王					一
			龍	香	歩	玉			二
				馬					三
				香	香	香			四
									五
									六
									七
									八
									九

☆「二」→「七」の立体曲詰。漢数字物は珍しい。手順はシンプル。さすがに 24 歩は飾り駒。

2016 年（平成 28 年）年賀詰

29 歩 18 玉 19 歩 27 玉 39 桂 16(26)玉  
27 銀 17 玉 18 歩 迄 9 手

☆年賀詰発表はこの年が最後となった。平成 28 年ということで 28 玉の裸玉。しかしながら 6 手目に非限定がある。

今回の問題は持駒にGのある協力自玉詰です。明示はしていませんが、手数が奇数の自玉詰なので受先です。ご注意ください。

<余談>

2021年もいよいよ終わりですね。ということで、今年のWFPの誌面の中からもっとも印象に残っている言葉を紹介します。Fairy TopIX中編部門1位の上田吉一さんの受賞コメントです。

「賞は、若い人を元気づけるものだと、思っています。(後略)」

今までこういうとらえ方をしたことはありませんでしたが、言われてみればそうなのかもという気がしてきます。そして、「伝承」プロジェクトと通じるものがあるような気もしてきます。さらには、最近のWFPでのフェアリー初心者向けのフェアリー入門編の担当者としての若い人の募集も、これと同根のような気がします。

来年はこういうベテランの思いと若手の情熱がうまくかみ合う年になるといいですね。どなたが若手なのかイマイチよくわかりませんが・・・。

<ルール説明>

【協力詰】

先後協力して最短手数で受方の玉を詰める。

【自玉詰】

攻方は自玉を詰めるよう王手を掛け、受方はそれを妨げるよう応じる。

【Grasshopper】(G)

フェアリーチェスの駒。クイーンの線上で、ある駒を1つ飛び越したその直後の地点に着地する。そこに敵の駒があれば取れる。

【受先】

受方から指し始める。

※各題Gの総駒数は4の設定です。

<問題>

【15-1】

協力自玉詰 9手

					王					一
										二
王										三
										四
										五
										六
										七
										八
										九

持駒 G

【15-2】

協力自玉詰 9手

										一
		王								二
										三
										四
										五
										六
										七
										八
							王			九

持駒 G

【15-3】

協力自玉詰 9手

										一
						王				二
										三
									王	四
										五
										六
										七
										八
										九

持駒 G



## やさしい Imitator PART4 (出題編)

占魚亭

やさしい(かどうか怪しい)Imitator の個展は前回で終わりのはずでしたが、在庫を整理したら出てきたので6回目を開催します。1問解答でも構いませんので、解答お待ちしております。

解答・コメント: [senyotei@gmail.com](mailto:senyotei@gmail.com) (■を@に)

### 【協力詰】

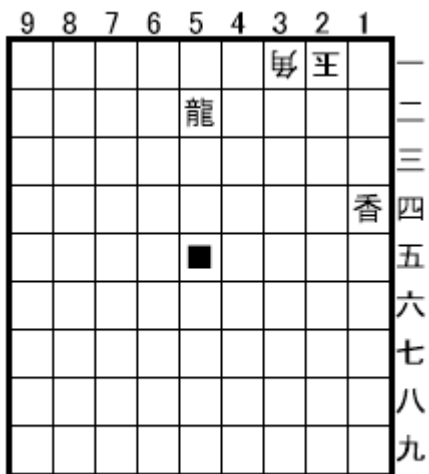
双方協力して最短手数で受方玉を詰める。

### 【Imitator(■またはI)】

着手をした時、その着手と同じベクトルだけ動く駒。Imitator が駒を飛び越えたり、駒のある地点に着手したり、盤の外に出たりするような着手は禁止。これは王手の判定にも適用される。

1.

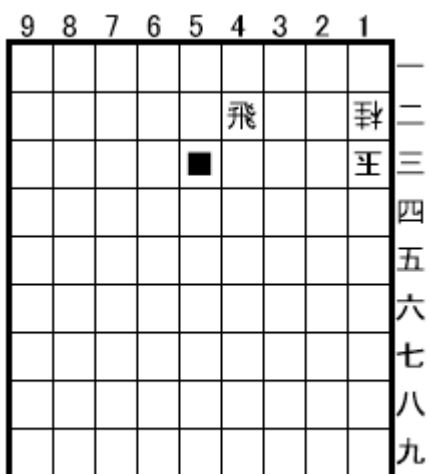
協力詰 3手



持駒 なし

2.

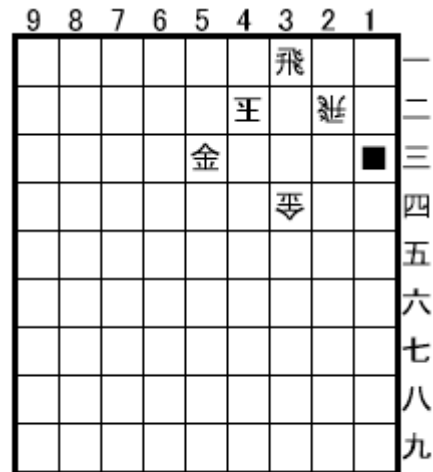
協力詰 4手(受先)



持駒 歩

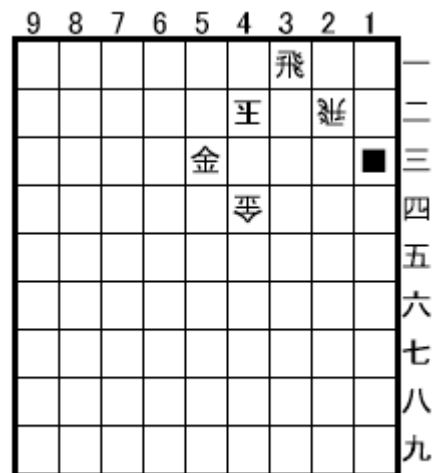
3.

a) 協力詰 5手

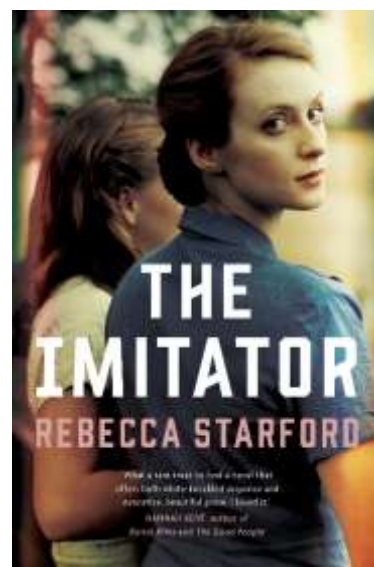


持駒 なし

b) 協力詰 5手



持駒 なし



## フェアリー入門 作品募集

数ヶ月前より担当者募集をかけておりましたが手を挙げる方が今のところいらっしゃらないのでとりあえず私が担当で来年1月号より、フェアリー初心者向けコンテンツとして詰パラ・キッズルーム～保育園～幼稚園のようなコーナーを設けます。

1回に多様なルールが出題されると解答者の頭が混乱する恐れがありますので、とりあえずは1回1ルールで開催します。

ルールにつきましては、ルールの複合はなしで単独のルール（協力詰）をお願いします。手数の上限は設けませんが「易しい」が基本方針となります。「易しい」基準は個人で異なりますが、担当者である私が判断して難しいと思うものは返送する場合（もしくはWFP作品展へ回す）ケースもあると思ってください。

発表は、投稿数にもよりますが、何作かは解答募集し、翌月解答発表、また詰パラ同様解付での発表もありとなります。

予定しているルールは以下の通り

- ・協力詰（1月号）
- ・協力自玉詰 受先協力詰
- ・安南協力詰
- ・対面協力詰
- ・天竺協力詰
- ・キルケ協力詰
- ・アンチキルケ協力詰
- ・PWC協力詰
- ・打歩協力詰
- ・強欲協力詰・禁欲協力詰
- ・マドラシ協力詰
- ・Andernach、AntiAndernach協力詰
- ・点鏡協力詰
- ・透明駒
- ・最後の1ピース

以下続く（取り扱い順はまだ未定）

このルールなら担当やっていいよという人も募集します。

コンテンツとしましては、作品出題、解付の作品の場合は簡単な説明を予定しています。第1回の来年1月号につきましてはフェアリー界の主役である協力詰を取り上げます。

## 協力詰超入門

簡単なルール説明をします。

協力詰とは、先後協力して最短手数で受方の玉を詰める。

作品の成立条件として書かれた手数が唯一解であること。その手数の手順、もしくはそれより短かいが複数ある場合は不完全となります。

〔例図1〕

協力詰 3手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
								王	一
						と			二
									三
									四
									五
									六
									七
									八
									九

持駒 角

たとえば〔例図1〕普通詰将棋だと、33角、12玉、22角成迄の3手の完全作ですが、協力詰だと、上記手順のほかに33角、22合、同と（同角成）迄等や初手33～99角などたくさん手順が成立します。全てを数えると105解あります。よって本作品は不完全です。作品として成立させるには3手の唯一解が必要です。

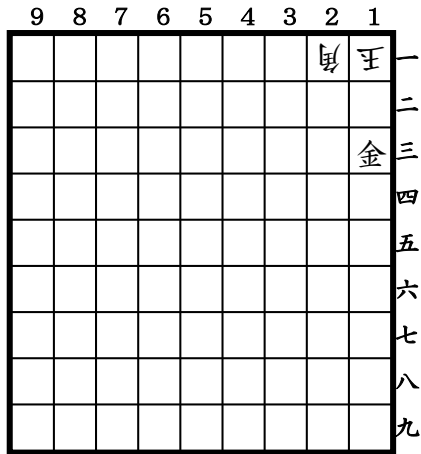
次に協力詰には無駄合概念がありません。1990年代初めまでは透かし詰が認められていましたが、ルール変更によりそれ以降は無駄合いが認められておりません。但し、透かし詰可の作品は、かつては将ばか詰、現在は透かし詰可協力詰として別枠のルールとなって存在しています。

では無駄合概念がないとはどういうことか？

〔例図2〕を見てください。

〔例図 2〕

協力詰 1手



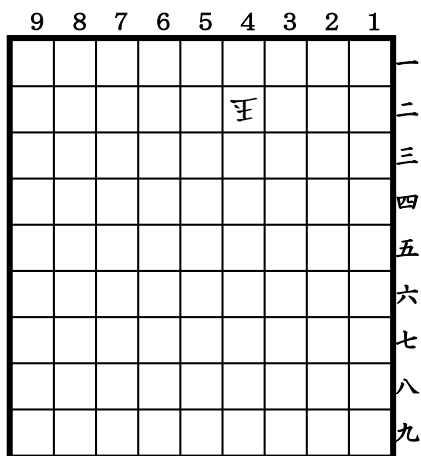
持駒 角

作意は 22 角の 1 手詰ですが、初手 33 角でも詰んでいるように見えます。普通詰将棋では 2 手目 22 合は同角（成）と取られて無効なので 22 合は無駄合となりますが、協力詰では全てが有効合となりますので、33 角、22 歩、同角成迄 3 手（駒余り）となり、最短手数で詰めていないという事になります。但し、現在では受方に持駒制限がある作品もよく発表されています。〔例図 2〕は受方持駒に対する表記がありませんが、無い場合は「残り駒全部」を意味しますが、「受方持駒なし」の表記があれば〔例図 2〕の 33 角～99 角も成立します。その場合は 8 解となり不完全作となります。

次に〔例図 3〕を見てください。

〔例図 3〕

協力詰 3手



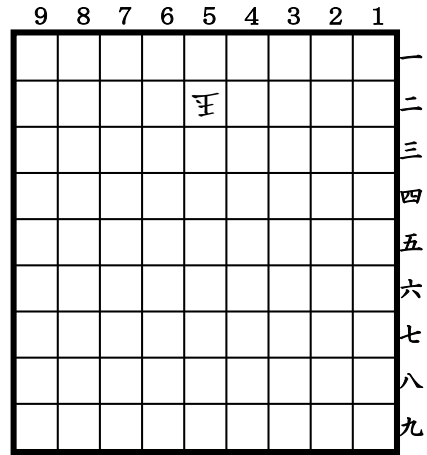
持駒 金桂

この図は不完全作です。初手 34 桂、41 玉、42 金迄の 3 手ですが、初手 54 桂も成立します。

では〔例図 4〕を、

〔例図 4〕

協力詰 3手



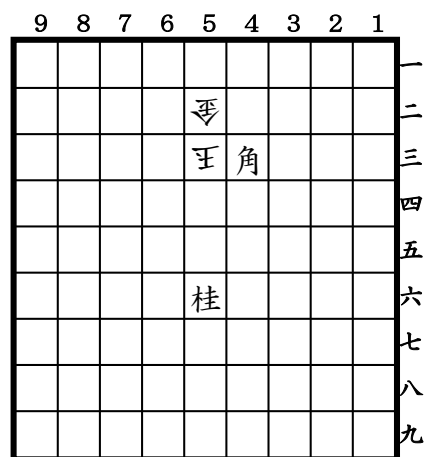
持駒 金桂

あれ、〔例図 3〕から後手玉が左に一つ寄っただけじゃん。この場合は初手 44((64)桂、51 玉、52 金迄の 3 手で唯一解として完全作となります。玉が 5 筋に居て局面が左右対称の場合は右からと左からの手順が対称となることから唯一解となります。解答の際にはどちらの手順を書いても大丈夫です。

では〔例図 4〕をちょっと引き伸ばしてみましよう。

〔例図 5〕

協力詰 5手



持駒 なし

作意は、52 角成、同玉、44 桂(64)桂、51 玉、52 金迄の 5 手詰ですが、初形は左右対称になっていないのですが、3 手目に 5 筋で左右対称形になっています。この場合どうなのでしょう。FM (フェアリーの検討ソフト) にかけて 2 解と解析結果が出ますが、現在ではこれも完全作で扱われます。この手の作品はあまり出題されませんが、頭に入れておくとよいでしょう。

(注) fm で /XY オプションを指定すると途中左右対称形からの左右対称解を同一視するようになるようです。(fmza だと /XS 但しコマンドプロンプトから指定) 七郎さんよりご教授頂きました。

作品を創作する時は、検討ソフトを利用しましょう。神無次郎氏によるフェアリー詰将棋の検討/創作支援ツールである fm(Fairy Mate)です。殆んどのフェアリールールを検討することが出来ます。また fm をリニューアルした fmza も fm では取り扱っていないルールも網羅していて便利です。共に神無七郎氏のサイトより無償でダウンロード出来ます。

#### Onsite Fairy Mate

(<http://k7ro.sakura.ne.jp/>)

のダウンロードコンテンツよりご利用ください。取り扱い方法や使用方法は上記 HP をご確認ください。

以上が協力詰の簡単な説明です。これまで協力詰を創ったことがない方も是非挑戦してみてください。来年 1 月号からスタートするフェアリー入門・協力詰への投稿お待ちしております。では投稿要項です。

#### 【第 1 回フェアリー入門 (協力詰) 作品募集】

入門用の易しい協力詰を募集します。

#### 投稿の仕方

##### 〔作者名〕

発表時に記載する作者名をお書きください。ペンネームでの発表の際はその旨お書きください。

〔ルール名〕 協力詰 ○手

応募の際、ルール名と手数を必ずお書きください。

##### 〔図面〕

初形が分かれば OK です。柿木ファイルや、Kife for Windows の kif ファイルに手順を打ち込んだものでも OK ですし、

攻方：43 角、56 桂

受方：52 金、53 玉

持駒：なし

のような表記でも構いません。

##### 〔詰手順 (作意)〕

52 角成 同玉 44 桂 51 玉 52 金 迄 5 手

のような表記でお願いします。柿木ファイルや kif ファイルに手順入力されている場合は上記記載は無くてもかまいません。

##### 〔狙い〕

作品の狙いがあれば書いてください。

##### 〔作者コメント〕

その他作品に関することや、自身に関することや作品に添えての一言があればお願いします。

##### 〔投稿先〕

メールにて受付します。

たくぼん： [takuji@dokidoki.ne.jp](mailto:takuji@dokidoki.ne.jp)

##### 〔投稿締切〕

2022 年 1 月 16 日 (日)



※作品が集まらなかった場合は募集期間が延長する場合があります。

## 解答募集締切一覧

ネットでのフェアリー詰将棋の解答募集締切一覧です。締切日が早いもの順です。解答先は各々異なりますのでお間違えにないように。

### 2022年1月12日(水) 解答延長

#### 第2回おばかな作品展

フェアリー作品 10題

### 2022年1月15日(土)

#### やさしい Imitator PART4

フェアリー作品 4題

解答送り先: 占魚亭 sengyotei@gmail.com (■を@に)

#### 第15回神無太郎の氾濫 (出題編)

フェアリー作品 3題

解答送り先: 神無太郎 (sgr03057@nifty.com)

### 2022年2月15日(火)

#### 第137回 WFP 作品展

フェアリー作品 11題

推理将棋 1題

## 作品募集一覧

### Fairy of the Forest #69

課題: 協力詰 (自由課題)

投稿締切: 2022年1月15日(土)

投稿先: 酒井博久 ([sakai8kyuu@hotmail.com](mailto:sakai8kyuu@hotmail.com))

(詳細は WFP161号 P42 をご覧ください)

### フェアリー入門

。新コンテンツです。易しい作品大募集です。新人さん大歓迎!

投稿締切: 2021年1月16日(日)

投稿先: たくぼん ([takuji@dokidoki.ne.jp](mailto:takuji@dokidoki.ne.jp))

(詳細は P55 参照)

### 第1回最後の1ピース作品展

・5手以内の最後の1ピース

投稿締切: 2022年1月31日(月)

投稿先: 馬屋原剛

- ・メール: [gou.umayabara@gmail.com](mailto:gou.umayabara@gmail.com)
- ・Twitter の DM: [@umanoko1525](https://twitter.com/umanoko1525)  
(詳細は P35 をご覧ください)

### 【あとがき】

今年もあと10日余りとなりました。この1年コロナ禍の中、ほとんどの行事が中止となりました。昨年に続きやりたいことが出来ない1年でした。

仕事についても昨年度に比べかなり売り上げも下がってちょーえりの顔色を伺って生活することが多くなりました。何とか東京オリンピック、パラリンピックは無観客ながら開催出来てテレビで応援することが出来まし、ここ数ヶ月はコロナの新規陽性者も激減してすこしずつ元の生活に戻りつつあるように思います。

あとはオミクロン株がどうなるか・・・

そして WFP も何とか1年無事発行を遅らすことなくやっていけました。これも偏に締切をきっちり守って原稿を送って頂く神無七郎さんをはじめ各担当者様あつてのことだと感謝しております。

来年こそはかつてのように外を飛び回ったり、観光したり、イベントに参加したり出来るような世の中になることを期待しております。

しかしながらこれを書いている前日に、長谷繁蔵さんの訃報が入り、急遽「長谷繁蔵さんを偲んで」を作稿しましたが、仕方がない事とはいえ残念で寂しい思いになりました。繰り返しになりますが、心よりご冥福をお祈りいたします。

来年もより一層頑張りたいと思いますので WFP をよろしくお願い申し上げます。

たくぼん

2021年 第162号

### Web Fairy Paradise

非売品

令和三年十二月号

令和三年十二月廿日発行

発行所 愛媛県新居浜市

発行兼編集人 須川卓二

発行所 Web Fairy Paradise 編集部

問合せ先

須川卓二 [takuji@dokidoki.ne.jp](mailto:takuji@dokidoki.ne.jp)